

# 令和3年度事業報告書

## 社会福祉法人 八起会

- 法人本部  
(経営委員会)
- 石部ケアハウス
- 石部デイサービスセンター
- 八起会居宅介護支援相談所
- 介護老人保健施設 石部ケアセンター  
(デイケア併設)
- 八起会ホームヘルプステーション
- 介護老人福祉施設 もみじ
- もみじデイサービスセンター
- もみじケアプランセンター
- 特別養護老人ホーム あぼし
- デイサービスセンターにこにこ
- 特別養護老人ホーム みやのもり
- みやのもりデイサービスセンター
- デイサービスセンターこんぜの郷
- こんぜデイサービスセンター
- 八起会栗東居宅介護支援事業所
- グループホームみなくち
- デイサービスセンターあさひがおか

# 令和 3 年度事業報告書

社会福祉法人 八起会

## 法人本部

(令和 3 年度 総括)

令和 3 年度は経営対策委員会を中核に第五次中期経営計画(令和 3~5 年度)を立案し、その実現に向けて着手した初年度であったが、事業運営は大変厳しいものとなった。新型コロナウイルスと向き合った 1 年間であり、自立支援や認知症対応などこれまでの改定で目指されてきたテーマが引き継がれ、新型コロナウイルスの感染症対策などへの緊急対応がプラスされた介護報酬改定が行われた。今回の介護報酬改定は過去最大規模で、見直しポイントも多数あり、そして、次なる同時改定に向けて大きな改革が始まった報酬改定であった。厚生労働省の統計発表によると、現在の介護保険の利用額としては、利用者の自己負担も含めると毎年右肩上がりに推移している。結論からいうと、市場規模だけみれば介護業界において「新型コロナウイルス」という観点での直接的な影響はほぼない。介護業界全体が介護保険制度の上に成り立っており、税金を活用したビジネススキームとなる。高齢者は増加傾向にあり、介護サービスを必要としている高齢者が増加しているため、新型コロナウイルスで介護業界が縮小したかというそのようなことはなく、新型コロナウイルスの影響自体は市場規模という観点においては関係ないと言ってよいと言える。現在は、世間が with コロナに慣れて過剰反応を示さなくなったことと、施設側としてもクラスターが出てしまった場合の設備や職員の対応などきちんとマニュアル化ができてきていることもあり、令和 3 年度に関しては前年度ほどの悪影響は少なくなっている。もっとも影響を受けたのは軽度要介護の利用者を対象としている通所事業所である。介護サービスを利用せずとも生活が可能な利用者層がデイサービス等の利用回数を減らす傾向にあり、軽度要介護の利用者の割合が多い事業所ほど新型コロナウイルスの影響を受けやすくなっている。当法人においても、デイサービスが大きな落ち込みとなり、その後の回復も遅く、元の水準に戻っていない状況になっている。

令和 3 年度の経営状況を見ると、事業収益面において、前述のとおりデイサービス等の通所介護事業所が前年度から軒並み右肩下がりに業績が悪化した。通所事業所の中でクラスターが発生していないにも関わらず、利用控えやデイサービスへの新規利用者紹介が激減したことが大きく影響している。さらに入所系でも石部ケアセンターが 10 月から 12 月にかけて急激に業績が悪化した。早い段階で対策を講じたことにより早期に回復し、何とか赤字幅を縮小できたものの影響は大きい。これら 2 点が大きな要因となり当初の予定より減額となった。費用面については、人件費として冬期賞与を前年同水準の一般職 1.3 ヶ月、管理職 1.2 ヶ月、役員 1.1 ヶ月に減額したものの、前年同期比 1,700 万円プラスとなっており、内、約 600 万円が 4 月給与より翌月払いであった職員諸手当を当月払いに変更したことによる増加分、約 900 万円がもみじ施設のショートステイ稼働アップに伴う増員分である。経費も約 1,620 万円増加した。要因としては、EPA(経済連携協定による介護福祉士候補者)の受け入れが新型コロナウイルスの影響によりずれ込み、今年度に 2 年分の受

け入れがあったことから福利厚生費や研修研究費が大幅に増加したことや業務効率化として導入を行ったシステム関係のライセンスやサポート費用が増加したこと、最も大きく影響したのが水道光熱費とガンリン代の値上げにより約 1,150 万円プラスとなったことである。結果、下期の想定以上の経費の増加および通所事業所の利用率の低下により大幅な赤字となった。

人事面においては、令和 3 年度スタート時に新卒者 9 名を新たに迎えることができた。コロナ禍における新卒採用活動として 2 度目となる令和 4 年卒新卒採用は、前年度同様、情報伝達を目的とした初期のフェーズの説明会は Web、見極めと意識醸成の両方が必要となる面接は対面で行った。コロナ禍で注目されたオンラインの活用であるが、選考プロセスにおける対面・Web の意向については、説明会は Web を希望し、面接や内定後の面談は対面を希望する学生が多くなっている。学生、法人とも Web を通じたコミュニケーションでは、人物や組織風土、雰囲気などが十分に伝わりきらないように感じられるため、単純に活動プロセスを Web 化するだけでなく、いかに伝えるように伝えるかに工夫の余地があると考えている。また、そもそも介護業界への就職を希望する学生の母集団が少ないことも介護業界の新卒採用が難しい理由のひとつであるため、就職サイト、合同企業説明会、マッチングイベント、学内セミナー、リファラル採用などのあらゆる母集団形成方法を活用、さらにインターンシップを実施したか否かが鍵と言われており、こちらも Web、対面、Web と対面のハイブリットを選べる 3 プランでインターンシップを実施した。早期選考や通年採用の広がりから就活ルールよりも選考時期を早め、内定後の懇親会や先輩社員との接点、採用担当者からの定期的な連絡、さらには選考へのフィードバックなど、日々のコミュニケーションの充実を図った。オンラインでは難しいケースや側面も出てきているが、オンラインだからこそできるようになったことも多くある。学生個々に対して最適化された情報を、必要なタイミングでどう手渡せるのか、法人の実態をしっかりと捉えた形で実践し、丁寧に相互理解を深めていくというプロセスを大切にしたい。これらの取り組みから前年を上回る内定者を確保することができた。学生は介護業界に対して、「人の役に立てそう」「社会貢献性が高い」などとプラスのイメージをもつ反面、「どの施設でも仕事内容は変わらなさそう」などのマイナスイメージもあり、同業他社との差別化がしづらいことも、新卒採用を難しくしている理由と考えられる。また、「他の業界に比べて所得が低い」、「シフト制により決まった休暇が取れない」、「労働が長時間にわたる、夜勤があるなどで生活リズムが整わない」など、環境の変化や不規則な環境をイメージしていたり、人間関係が難しそうだと感じて、他の業界に目を向ける学生も少なくない。学生に法人の経営理念や方向性、思いなどを共感してもらえるよう、現場の仕事を具体的に伝えることやネガティブな情報の開示も裏表なく伝え切ることが何より重要であると考えている。法人の実態と魅力をセットで伝えるなど、伝え方も工夫しながら、法人の情報を詳らかにし、実際にリアルな実態をきちんと開示したコミュニケーションを実践していきたい。

また、人材不足解消の希望となっていた外国人労働者も新型コロナウイルスの影響で海外からの出入国に制限がかかってしまい、令和 2 年からは海外からの人材を確保するのが非常に困難な状況となってしまった。令和 3 年度に入り、スケジュールが遅れていた EPA(経済連携協定による介護福祉士候補者)の受け入れが漸く動き出し、令和 2 年度候補者であったインドネシア人 3 名が 6 月、フィリピン人 1 名が 9 月、令和 3 年度候補者のベトナム人 1 名が 11 月、インドネシア人 2 名が令和 4 年 1 月、フィリピン人 2 名が令和 4 年 2 月に無事入職することができた。また、新型コ

コロナウィルスのパンデミックが宣言された以降、現地合同説明会が中止になったが、令和 4 年度候補者の受け入れについてもインドネシア人 1 名、フィリピン人 4 名とのマッチングが成立している。外国人採用については、利用者からの評判も良く、職員の刺激になっているので、今後も EPA を中心に継続的に受け入れていく方針であるが、特定技能制度の導入も引き続き検討している。

一方、中途採用については、新卒と EPA の採用が順調なことから人手不足感が緩和傾向にあるため、求人を出し続けてはいるものの、積極的な募集を控えた。また、前年度に引き続き、ハローワークからブラジル人やペルー人の紹介が多数あり、殆どが介護補助職員への応募であった。介護職員がしなければならないことと、介護職員以外でもできることに分けることで、介護職員の負担軽減を図るとともに、介護における専門性を有していなくても障がい者・外国人・高齢者など、多様な人材が活躍できる場ができた。さらに介護の周辺業務を担う介護補助職員については、既に導入している事業所があったが、事業所により業務内容の違いや利用者へのかかわり方にも違いがあった。そのため、介護業務の仕分けにより介護補助業務を明確化し、介護周辺業務の就労ハードルを低くするとともに「介護補助導入マニュアル」を作成して、標準化した介護補助職員制度を導入した。

現状、人手不足が緩和傾向にあるが、高齢化に伴う必要な介護従事者数の増加、少子化による労働人口の減少を背景として、慢性的に人手不足の状況は続くと考えられ、人材を増やしていくための「採用」と「定着」にもっと力を入れていく必要がある。一方で、IT ツールなどを活用し、今よりも少ない人数で多くの方を適切にケアできるような業務改善も求められる。介護業界のポジティブなイメージを伝えていくことはもちろんだが、魅力的なサービスや働きやすい環境を整えることで人が集まる法人にならなければならない。

常勤職員の異動については、年度途中の退職者は 13 名(定年以降退職 1 名)、新卒採用者は 9 名、中途採用者は 17 名、非常勤から常勤への登用は 3 名、常勤から非常勤への変更は 4 名となり、年度当初の職員数 201 名に対し、年度末職員数は、213 名となっている。年度末における非常勤職員を含めた総職員数は、362 名と昨年度末比 4 名増となった。

介護業界の人材不足を受けて、重要になったのは業務の効率化である。効率的な施設運営のため、IT 導入の必要性は厚生労働省からも報じられてきたが、もともと社会保障事業は国の事業であるため各種手続きが紙ベースであることや、IT 導入には多額のコストがかかることから、積極的な導入は進んでいないのが令和 2 年初めまでの状況であった。しかし、新型コロナウイルスの影響により大きく IT 化が進んだ部分がある。作業をペーパーレス化・IT サービスを導入することで、負担軽減による労働環境の改善だけでなく、作業に費やしていた時間を介護サービスに充てることができ、施設利用者の満足度の向上も期待できる。具体的には、事業所毎にばらつきがあった介護記録を紙ベースから介護報酬請求・業務記録ソフト「ほのぼの」に入力することで完全システム化することや、タブレットで記録業務をより短縮・効果的にする Care Palette(ケアパレット)の導入による作業時間の低減、電動ベッドや介護リフト、見守り支援システム「眠り SCAN(スキャン)」の導入による業務負担の低下、特に見守り支援システムは夜間見回りを大幅に削減しつつ、重大事故の発生を抑えたいうえで、入所者ごとの行動や健康状態を数値化できる。導入には一定の費用が必要であり、決して安い出費ではないため補助金を活用しながら順次導入を図っている。

また、令和 2 年度にポジティブ・アクションの取り組みを進めていくための宣言を法人 HP に掲載したことから、その宣言に沿って、プライベートや家庭を大切に時間を持てるように、マイホリデー(記念日休暇)制度と配偶者出産休暇制度を令和 4 年 3 月より導入することとした。そして、掲げていた意欲ある女性職員の積極的登用の第一歩として 2 名を所長職に抜擢した。

さらに、予てよりの懸案であった資格認定試験の面接官を理事長以外の 4 名を外部の個人とした。資格認定試験の目的は役職者に適した「人材の見極め」である。また、「職員育成」、「公平性の担保」という目的も併せ持つ。監督職、上席監督職、管理職の役割はそれぞれ大きく違うものであり、面接、適性検査、人事考課、小論文など多角的な面から評価する必要がある。昇級基準を「実務の評価」と「試験の成績」にすることで、一部の上司の恣意的な評価による昇級を防ぐことができ、公平性が担保できる。たとえ資格認定試験に落ちた場合でも、客観的な指標から自分に足りない面を自覚できるため、試験自体が成長を促す機会になる。試験後はその結果を本人と共有するためのフィードバック面談を全員と行うこととした。

研修・教育プログラムの充実にも継続的に取り組み、組織の固定化を防ぐためにも、研修の方法や内容など、年に応じて変化させているが、令和 2 年度において新型コロナウイルスにより進行に影響があったため、令和 3 年度は令和 2 年度の内容に引き続き、リモートで行うべきことと集合で行うべきことをしっかりと見極めて効果の高いやり方で実施した。法人内での立場や役職によって異なる仕事への姿勢や考え方などの自覚を促し、職務を遂行する上で必要な能力を身につけるといった目的で、階層ごとのスキルの現状と求められる能力のギャップを埋めるために必要なことは何かを把握し、中長期的な育成方針で行っている。恒例の法人顧問弁護士による研修は今年度も中止。さらに、高齢者の尊厳をはじめとする企業人権問題に対し、日頃から法人内研修等啓発に努めているが、令和 3 年度は八起会独自の「やさしい日本語」のビデオ(YouTube)を制作し、「言葉の壁のない八起会」を実現することを目的に事業所内での視聴とした。法人では 6 カ国から 20 名を超える外国人が勤務しており、外国人職員の日本語のレベルは様々で、多くの外国人が理解できる日本語においては、できるだけわかりやすい情報発信(「やさしい日本語」)が求められる。また、「やさしい日本語」は外国人だけでなくろう者や知的障がい者・高齢者など、様々な人に役立つ表現方法の一つである。

経営に関しては、第五次中期経営計画の「人材の確保・育成」、「安定経営に向けての事業展開」、「安定経営に向けての経営マネジメント」の課題と方向性に基づいて、主要施策の項目を掲げ、効率的、効果的に遂行できるよう、これまで同様、各所管の責任において実行していく項目と、委員会等にゆだねる項目、PT(プロジェクトチーム)方式で進める項目など、区分けして取り組んでいる。特に経営対策委員会を中心に具体的推進策(工程表)に基づき、分析、検証を進めており、令和 3 年度は引き続き法人財務分析および他法人比較を行うなど、「各事業所の内外特殊要因、加算等の分析」、「各事業所の八起会での位置づけ方針検討」、「八起会全体としての総合戦略検討」、「LIFE のシステム内容把握・情報管理」、「ハラスメント対策の強化」などについて取り組んだ。また、事業所単位の人件費率表の作成を行い、利用率だけでない人件費も含めた管理者の判断指標を導入。さらに福祉大臣等の操作説明会の開催により管理職の収益管理のスキルアップに繋げ、事業所単位での運営状況把握の土台を作ることができた。また、石部ケアセンターの健全

であった過去の年度別推移表を作成、分析することで、赤字の常態化からの改善に導いた。

また、勤怠システムを本稼働し、この 1 年で安定した運用に乗せることができたことにより、勤怠集計に掛かっていた時間が大幅に縮小できた。これを機会に令和 4 年 3 月より事務上の煩雑な管理を楽にするために年次有給休暇を一斉に付与するルールを適用することとした。昨年度法人本部会計に導入した福祉大臣のフィンテック AI 機能も全事業所へ導入し、ICT 化を促進することができた。さらに人事管理システムについてもデータ移行を行い、本格稼働に結びつけられたので、今後は研修履修情報などの情報管理強化や人事分析等に役立てたい。

そして、事業継続のための大規模修繕について、今後 10 年間で約 14 億円を予定しており、令和 3 年度は石部ケアハウスの給湯設備の入れ替えともみじ施設の外部改修工事、高圧受電設備改修工事に着手した。

その他については、新型コロナウイルスの発生から 2 年目であったが、感染拡大防止対策について全員が高い意識を持つことができ、クラスターが発生することなく営業することができた。しかし、残念ながら今年度も例年開催している祭りは中止とした。自主防犯組織「八起会安心パトロール隊（青色パトロール）」は継続しており、徘徊不明高齢者の早期発見保護活動に重きを置き、有効な活動を推進し、児童・生徒に対する痴漢予防の活動にも努めている。

障がい者雇用については、例年通り湖南省内の三雲養護学校とも連携を取りながら積極的に取り組んでいるが、令和 3 年 3 月から法定雇用率が 2.3%に引き上げになり、それを下回る結果となった。採用競争が激化、さらに新型コロナウイルスの対応等により実習受け入れが困難になったことで、採用が厳しくなったことと、常用雇用が増えてきたことで障がい者雇用が追いつかなかったことが要因である。そのため厚生労働省発布の令和 4 年度「除外率設定業種企業における障がい者雇用モデルの構築事業」の支援を希望する企業に応募した。これは経営戦略に役立つ形での障がい者雇用を実現するため、障がい者雇用・経営コンサルティングを活用して各種取り組みを実践していくというものであったが、法人においてはあらゆる取り組みが既にできているとの評価で選定にもれた。しかし、ハローワーク甲賀からもご協力いただけるとのことで、雇用率だけに着目するのではなく、もっとたくさんの障がいのある方たちを採用していきたい。

団塊世代が全員 75 歳以上を迎える節目となるのが令和 7 年。その直前の令和 6 年 4 月に、再び介護報酬・基準の改定期が訪れる。このタイミングを考えれば、3 年後の次の改定では、今回の改定を土台として、さらに踏み込んだ改革が行われると思われる。これからの介護業界は新型コロナウイルスによる社会の変化と介護報酬改定による改革への対応ということで、大きなチェンジをしていかないといけない。政府の方向性を踏まえ、人・物・金が経営資源としてバランスよく統制された質の高い効率的な経営と災害や感染症の発生を前提としたリスク対策を図っていきたい。

## 経営委員会 総括

前年度に引き続き、経営委員会において以下の取り組みを行った。

### ➤ 経営対策委員会

前年同様に重要課題を小委員会に分かれて取り組みをおこなった。

- ・職種・時間帯別募集の検討・実施

高齢な職員が働きやすい環境を整備するため、マニュアル策定などの整備を行った。

また、運転手の確保が難しい現状を鑑みて、募集方法等を検討している。

### ・各事業所の内外特殊要因、加算等の分析

令和 3 年度の介護報酬改訂について、法人内各事業所のすべての加算とその要件を一覧表にまとめ、各事業所が最大限加算を取得できるように努めた。

### ・各事業所の八起会での位置づけ方針検討

石部ケアセンターの経営分析を行い、ショートステイの導入をすすめ、第一段として利用率の回復を図った。

### ・適正人員の考え方の研究

財務小委員会を立ち上げ、月間及び年間の人件費率を速報として算出、各事業所の経営状態の指標として提供した。

### ・新規事業・施設整備の方針検討

みなくち居宅の事業の再開を検討した。

### ・八起会全体としての総合戦略検討

通所事業所の夕食の配食サービス検討。

各居宅に調査を依頼中。

### ・LIFE のシステム内容把握・情報管理

介護保険制度改定に伴い導入された LIFE システムの早期理解に努めた。下期からは介護記録システム「ほのぼの」の連動も併せてシステム理解をし、法人内統一ルールの策定を行った。

### ・専門職会議の定例化

法人全体の専門職（看護師、セラピスト、栄養士、施設及び通所相談員、事務職、ケアワーカー、営繕（運転手）、施設及び居宅介護支援専門員）ごとに会議開催のアンケートによる実態調査を実施、集計を行った。

### ・感染症対策の強化（予防・まん延防止のための研修及び訓練等）

BCP 策定のポイント、BCP 作成セミナーをオンラインで受講。

他市町村の BCP マニュアルを参考にし、当法人でのマニュアル作成の方策について話し合いを行った。

### ・業務改善におけるアンケート実施

各事業所の比較を目的に異動経験のある役職者に聞き取りを行い、各事業所の長所や課題の共有を行うためアンケート作成した。

### ・ハラスメント対策の強化

カスタマーハラスメントマニュアルを作成し、法人全体の統一様式として周知した。

### ➤ 業績向上委員会

昨年度に引き続き法人内の各部署間の連携と情報共有に重きをおき、居宅部門と通所部門、入居部門に委員会のメンバーを分け、それぞれの部門で相談員、ケアマネジャーを中心

に定期的に会議を開催し、利用率向上に向け取り組みを行ってきた。情報共有については、共有の手段と何を共有するのかを精査し、新規利用者の取りこぼしがないように努めた。

また、経費削減の取り組みとして、ガンリン代が高騰する中、通所事業所を中心にエコドライブの啓発を行った。

#### 《居宅部門》

外部事業所のサービス等の情報収集を行い、事業所へ情報提供を行った。

湖南省、栗東市主催のケアマネ連絡会議で法人のPRをさせてもらうなどの調整を図った。

現状の利用者のニーズを収集し、通所、入居会議の場で情報の共有を行った。

#### 《通所部門》

居宅からの情報を元に、取り組めるサービスを検討し、実施した。

今年度より創設された、LIFE と入浴加算に関しての情報共有と加算取得に向けての情報交換を実施。

デイ利用者の中でケアセンターの利用につながる利用者を検討し、紹介を行った。

こんぜの里の稼働向上のため、個別リハビリメニューを作成し実施した。また、広報活動にも努めた。

#### 《入居部門》

待機者の整理と次期入所者の調整等を中心に連携・情報交換を行い、空床期間の削減に取り組んだ。

ケアセンターに焦点を当て、申し込みから入居までの期間を迅速に行えるかが集客のカギを握ると考え、短縮する方法を検討し、提案した。

今年度については、各部門で具体的に行動ができた。しかし、結果として法人全体の稼働については目標を達成することができなかった。特に通所部門については、大きく業績を落と結果となり、早急に改善を図っていきたい。

次年度も引き続き、各部門での連携を図りながら取り組みを進め、業績向上に繋げていきたい。また、外部関係機関への広報活動や経費削減についても取り組んでいきたいと考えている。

#### ➤ サービス向上委員会

昨年度の課題であった事故報告書の見直し・統一・マニュアル作成、マナーリーダー養成研修との連携、地域のごみ拾いの継続と、委員会以外の対象者を選抜してのごみ拾いの実施を進めて活動することができた。

・事故報告書をマニュアル化し、どの事業所においても同じ書式のものを使い、職員がわかりやすいように“ほのぼの”の手順書を作り各事業所に配布した。来年度からは全事業所で“ほのぼの”を使い、集計もしやすく(グラフ化で見える化)なると考える。

・マナーリーダー養成研修において、「自己チェックシート」を完成させた。全職員が自身を振り返ることで、マナー向上へ繋げていきたい。さらに、電話対応のマニュアル化を検討中。

・地域 PR 活動として、5 月に丸山周辺、11 月に石部駅から“にここ”までの道中のゴミ拾い

を行った。5 月は新人職員と委員の 15 名、11 月は EPA の職員と委員の 10 名で実施。今後、少しでも地域に貢献できることに取り組んでいきたい。

・法人 HP で職員ブログを開始。利用者やその家族、地域の方々や求職者向けに八起会の日常を届けている。八起会の 19 の事業所を一年通して少しずつ覗いてもらえるようなイメージで、各事業所をアピールする手段の一つに活用している。

#### ➤ 研修委員会

①教育訓練カリキュラム(対象者:令和3年度新卒採用職員、常勤転換希望職員)

②初任者研修(入社3年目までの職員、及び希望者)

上記の研修を実施。

・将来的に研修実施に対する助成金取得に備え、算定要件の6カ月間(4月～9月)に及ぶ規定時間を満たすように、前年度と同様のボリュームでカリキュラム研修を計画、実施した。但し、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、身体介護を伴う介護体験や施設実習は実施を見送った。

・新入職員・常勤転換職員以外の初任者研修受講者に対しては、前年度から引き続き ZOOM による Web 研修も開始。

ZOOM での研修は石部丸山地区以外の事業所職員の移動時間が短縮できるが、通信準備が上手くいかずセッティング待ちとなる場面が複数回みられた。

・研修科目や時間が多いため、各科目共しかりと教育された。

但し、講師側の負担が多いこと(ZOOM で終日研修の日もあったため)、短時間勤務の非常勤職員が参加しにくかったこと、常勤転換職員は勤務調整がつかない、休み希望などで欠席が続いてしまう等の課題が残ったため、今後の研修企画時には検討していきたい。

・現在、移乗等の介護実技についての研修システムが確立されておらず、法人内職員の講師による研修が望ましかったが、実現できなかった。来年度から外部講師等も視野に入れ、京都医療福祉専門学校と企画中。

#### 理事会開催状況

令和3年5月25日(火)※Web会議システムにて実施

1. 令和2年度事業報告及び決算報告(案)について
2. 新理事候補者・新監事候補者の選定について
3. 新評議員候補者の選定および評議員選任・解任委員会の開催について
4. 評議員会の開催について
5. 石部ケアハウス給湯設備改修工事の入札結果について
6. 総施設長人事について

令和3年6月17日(木)※Web会議システムにて実施

1. 理事長の選任について
2. 評議員選任・解任委員の選任について

令和3年7月8日(木)※Web会議システムにて実施

1. 不動産の購入について
2. 会計報告について
3. 金融機関取引について
4. 介護老人福祉施設もみじ外部改修工事の入札業者の選定について

令和3年8月12日(木)※Web会議システムにて実施

1. 介護老人福祉施設もみじ外部改修工事の入札結果について
2. 第五次中期経営計画(案)について

令和3年10月20日(水)※Web会議システムにて実施

1. 金融機関取引について

令和3年12月3日(金)※Web会議システムにて実施

1. 会計報告について
2. 湖南省地域包括支援センター事業のプロポーザルへの参加について

令和4年1月6日(木)※Web会議システムにて実施

1. 金融機関取引(介護老人福祉施設もみじ外部改修工事資金借入)について
2. 金融機関取引(運転資金借入)について

令和4年3月29日(火) ※Web会議システムにて実施

1. 会計報告について
2. 令和3年度補正予算(案)について
3. 令和4年度事業計画及び予算(案)について
4. 令和3年度指導監査結果等の報告について
5. 金融機関取引(もみじ改修工事分)について
6. 金融機関取引(システム更新分)について
7. 施設長人事について
8. 就業規則の変更について
9. 役員等賠償責任保険の契約について

評議員会開催状況

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面決議とし、令和3年6月17日(木)までに同意書返送を依頼した。

1. 令和2年度事業報告及び決算報告(案)について
2. 理事の選任について
3. 監事の選任について

監事監査の実施状況

令和3年5月25日(火)

中村監事・山元監事により実施

石部ケアハウス  
石部デイサービスセンター  
八起会居宅介護支援相談所  
(令和3年度 総括)

- ・要介護1 …17名
- ・要介護2 …9名
- ・要介護3 …2名
- ・要介護4 …0名
- ・要介護5 …1名
- ・区分変更中…1名

1. 総括

(1) 石部ケアハウス

- ・令和3年度は、利用率96%(平均入居者48名)を目標としてスタートした。4月、夫婦部屋が空いた状態での48名でしたが、5月に夫婦を迎えることができ、年間退居者が7名いましたが、8名の新規入居者をタイミング良く獲得し、年間利用率98.1%となった。入居延べ人数は満床で18,250名(定員50名×365日)に対し、17,931名。令和2年度の16,776名と比べると1,155名増、利用率にして6.17%の増加となった。
- ・入退居の状況は、8名の入居者受入(令和2年度5名)、退居者7名(令和2年度3名)と例年並みの状況であった。年間退去者7名の退居先は、老健4名・特養3名と、老健(石部ケアセンター3名)が一番多い状況であった。
- ・昨年度に引き続き、入居者の会である「ふるさと会」をもとに、入居者の自己選択、決定を尊重し、また、事故・苦情等に対して早急な対応と、サポートをすることができた。
- ・三雲養護学校の生徒との交流事業は、新型コロナウイルスの感染防止対策上、中止せざるを得ない事態が続き、昨年度も、三雲養護学校の石部高校分校の生徒が作ったパン販売も、ハウス職員が販売を代行することとなり、間接的な交流になった。
- ・ケアハウス入居者によるボランティア活動として、石部デイサービス利用者の見守りサポート、あぼしやケアセンターのトイレで使用する感染防止用新聞紙のセット作業を行った。
- ・設備面では、入浴用ボイラー・濾過器、それに伴う配管設備や浴室の天井・換気扇の更新とドアやミキシングの修繕を行った。入居者居室の照明器具や冷蔵庫・水道栓・温水器の更新も2年目となり、生活環境改善に努めた。
- ・利用率アップに伴うサービス活動収益は、前年対比5,050千円増となったが、職員1名退職に伴い、引継ぎ要員を早期に増員したことから人件費が前年対比2,426千円増、風呂給湯関係の修繕費、利用率アップに伴う給食費、水道光熱費の値上げ、給食業務委託費の値上げ等で物件費等が前年対比5,127千円増となり、減価償却費が増加したことも相まって、サービス活動増減差額は3,965千円減少した。
- ・年度末現在
  - 入居者内訳 男性15名、女性34名、計49名
  - 平均年齢 男性83.7歳、女性87.2歳、全体86.1歳
  - 男性(最年少70歳、最年長98歳) 女性(最年少76歳、最年長96歳)
  - 要介護・要支援状態区分該当者38名(前年度該当者38名)
  - ・要支援1・2 …8名

<時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3年度	87,770	27,102	40,233	16,450	3,985
2年度	82,720	24,676	35,106	14,988	7,950
1年度	83,269	25,548	33,052	14,041	10,628

(2) 石部デイサービスセンター

- ・令和3年度の日平均利用者数は21.9名となり令和2年度(25.1名)より3.2名減となった。年間の利用者延べ人数においても令和3年度6,797名に対して、令和2年度(7,797名)より789名(前年対比▲10.1%)減であった。利用者総数も53名と令和2年度(58名)より5名減少した。
- ・新型コロナウイルスの影響から、利用を控えられるケースや居宅に新規利用者が無く、デイサービスへの新規利用者紹介が激減したこと、ほぼ毎日利用されていた6名(ケアハウス入居者3名、地域の方3名)の利用抹消が大きく影響した。
- ・サービス活動収益は、年間延べ利用者が789名減少し、サービス活動収益6,987千円減少した。水道光熱費やガソリン代の値上げの影響や、風呂・換気扇関係の修繕費等で、物件費も527千円増加した。以上のことからサービス活動増減差額は13,316千円の悪化となった。

<時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3年度	58,892	67,335	14,542	4,719	▲27,704
2年度	65,879	61,826	14,015	4,426	▲14,388
1年度	71,068	65,787	13,170	4,305	▲12,194

(3) 八起会居宅介護支援相談所

- ・令和3年度は、新規利用者の受け入れが56名(令和2年度50名)、死亡・入所等された方が49名(令和2年度40名)であった。新型コロナウイルスの発生前より、新規利用依頼が減少している。(平成30年度99名)
- ・年間延べ利用者人数は2,702名で、令和2年度に比べ162名増。その内訳は要介護延べ人

数が2,146名(令和2年度1,983名)、要支援は556名(令和2年度557名)と前年対比で要介護者163名増、要支援者は1名減となり、比率は、要介護者79.4%(令和2年度78.1%)、要支援者20.6%(21.9%)で要介護者の割合が増加している。また月平均では、要介護者178.8名(令和2年度165.3名)、要支援者46.3名(令和2年度46.4名)となった。

- ・介護支援専門員の一人当たりの月間利用者件数は45.0名(令和2年度42.3名)であった。
- ・介護支援専門員の経験が初任の職員の配属があり、OJTによる教育を綿密に行った。また、管理者及び主任介護支援専門員が同行訪問を行うなど、新規利用者を積極的に受け入れられる体制をとった。
- ・地域貢献活動として市内の主任ケアマネジャーの有志の「ちいきつなげ隊」では、地域の社会資源の現状を把握、課題を分析しながら、今後、地域に必要な社会資源の提案や、地域の高齢者が住み慣れたまちで自立して生活していける仕組みづくりを行うべく活動に取り組んだ。
- ・湖南市自立支援型地域ケア会議に担当ケースを提出し、各関係機関の担当者と話し合うことで、利用者の自立支援の向上を図るとともに、社会資源抽出など地域課題の問題点の発掘に貢献した。さらに同会議の助言者として参加し、地域課題等の解決に取り組んだ。
- ・甲賀、湖南ケアマネ協議会の事務局として地域の居宅介護支援専門員に新型コロナウイルスの感染防止の研修会を開催し、甲賀市、湖南市の介護保険事業の推進に協力を行った。
- ・職員の資質向上では、他法人の特定事業所加算Ⅱを算定している事業所とともに合同事例検討会を実施した。また、地域包括支援センターが実施する事例検討会にも積極的に事例を提出した。さらに介護支援専門員としてのスキルアップを目的とした議題や利用者に関する情報の共有の勉強会を週1回開催した。
- ・24時間連絡体制により、独居世帯、高齢者世帯や介護力が不十分な世帯、また虐待、経済的困窮世帯などの困難な介護ケースも受け入れ、各関係機関との連携を密にして、地域の方々や行政に信頼される事業所としての役割を果たした。
- ・働き方改革として、7日間の連続休暇(年次有給休暇5日間+公休2日間)を職員全員取得するとともに、年間の有給休暇取得率、事業所全体で77.8%(年間付与日対比)の実績を果たした。さらに業務効率化を図り、職員一人当たりの時間外勤務を月平均3.1時間とした。
- ・サービス活動収益は、年間延べ利用者数162名増から前年対比3,833千円増の38,204円となった。職員の常勤化による人件費増や新型コロナウイルスの感染防止のかかり増し経費の発生、減価償却費増もあったが、サービス活動増減差額は前年対比2,371千円増となった。

<時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3年度	38,204	23,522	2,451	486	11,745
2年度	34,371	22,580	2,076	341	9,374
1年度	34,658	23,189	1,763	236	9,470

2. 年間延べ利用者数(デイサービス・居宅支援 上段:介護 下段:予防)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアハウス	1,428	1,550	1,440	1,550	1,550	1,500	1,511	1,470	1,518	1,534	1,372	1,508	17,931
デイサービス	587	588	600	626	590	566	547	558	579	476	473	541	6,731
	4	8	9	9	9	7	5	1	2	4	4	1	63
居宅支援	166	167	177	182	183	184	186	184	189	183	171	174	2,146
	48	49	47	51	50	48	46	45	45	43	42	42	556

3. 職種別職員数(令和4年3月31日現在)

形態	職種	施設長	事務長	相談員	栄養士	ワーカー	看護師	専門員	介護支援	宿直	営繕管理
石部ケアハウス		1		1	1	2					
石部デイサービス				2		8(4)	2(2)				2(2)
居宅介護支援								5(1)			
計		1		3	1	10(4)	2(2)	5(1)			2(2)

( ):非常勤職員数

4. デイサービス登録者数(令和4年3月31日現在)

要支援	要支援	要介護	要介護	要介護	要介護	要介護	合計
1	2	1	2	3	4	5	
1	0	14	11	12	8	4	50
							男性 17 女性 33

(女性3名別途保留中)

5. 年間行事等実施内容

別紙のとおり

## 令和3年度 行事等実施報告書（石部ケアハウス）

	行事					その他		
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月	4	映画鑑賞会	5	お花見弁当	12	編み物教室	12	クッキー販売
	16	お誕生日会	18	映画鑑賞会				
5月	2	映画鑑賞会	9	母の日	14	お誕生日会	16	映画鑑賞会
	17	編み物教室	19	さつま芋の苗植え	24	クッキー販売		
6月	7	クッキー販売	10	手作りパン販売	11	お誕生日会	13	映画鑑賞会
	14	編み物教室	20	父の日	27	映画鑑賞会		
7月	1	手作りパン販売	5	クッキー販売	4～7	七夕	11	映画鑑賞会
	16	お誕生日会	19	編み物教室	25	映画鑑賞会		
8月	1	映画鑑賞会	2	クッキー販売	6	お誕生日会	15	映画鑑賞会
	23	編み物教室						
9月	5	映画鑑賞会	17	お誕生日会	19	映画鑑賞会	20	敬老祝賀会
10月	3	映画鑑賞会	11	編み物教室	15	お誕生日会	17	映画鑑賞会
	18	クッキー販売	21	手作りパン販売	22	芋掘り	25	焼いも
	31	全館害虫駆除						
11月	1	クッキー販売	7	映画鑑賞会	8	編み物教室	11	手作りパン販売
	19	お誕生日会	21	映画鑑賞会	29	消防訓練		
12月	5	映画鑑賞会	6	クッキー販売	9	手作りパン販売	10	お誕生日会
	19	映画鑑賞会	20	編み物教室	22	ゆず風呂	24	クリスマス会
1月	1	年賀祝賀会	1	記念撮影	2	書初め	7	お誕生日会
	10	編み物教室	15	小正月（甘酒とぜんざい）	16	映画鑑賞会	17	クッキー販売
	20	手作りパン販売						
2月	6	映画鑑賞会	7	編み物教室	10	手作りパン販売	11	お誕生日会
	20	映画鑑賞会						
3月	3	手作りパン販売	6	映画鑑賞会	18	お誕生日会	20	映画鑑賞会
	30	消防訓練						

・カラオケを楽しむ会（毎週 火曜日14:00～）

・生き生き体操（毎週 月、水、金 13:30～14:00）

・お針の会（第2、第4 日曜日10:30～）

・書に親しむ会（第1、第3 日曜日10:30～）

・喫茶（毎週水曜日 14:00～15:00）

※、ノロウイルス感染症の状況を考え、行事は中止・再開を繰り返しました。

※、さつま芋の苗植え、芋掘りは入居者のみで行いました。

## 令和3年度 行事等実施報告書（石部デイサービスセンター）

	行事					その他		
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月	17	手作りおやつ	24	松花堂弁当	28	ティーパーティー	7	誕生日会
	24	手作りおやつ					20	誕生日会
5月	6	手作りおやつ	12	ティーパーティー	18	ティーパーティー	7・11	誕生日会
	21	手作りおやつ	24	焼きそばランチ			15	誕生日会
6月	7	手作りおやつ	22	出前ランチ			4・8	誕生日会
	26	お茶会	29	ティーパーティー			17	誕生日会
7月	17	手作りおやつ	26	手作りおやつ			6・9	誕生日会
	21	行事食					28	誕生日会
8月	13	手作りおやつ	19	手作りおやつ	24	そうめん	5	誕生日会
	30	お茶会					14	誕生日会
9月	17	手作りおやつ	25	手作りおやつ			6・18	誕生日会
	23	すき焼き	20	ティーパーティー			28	誕生日会
10月	6	ティーパーティー	12	手作りおやつ	21	行事食	14	誕生日会
	23	手作りおやつ	24	ティーパーティー			26	誕生日会
11月	13	ティーパーティー	19	うどん定食	18	ティーパーティー	12・21	誕生日会
	15	手作りおやつ	23	手作りおやつ	23	ティーパーティー	26	誕生日会
12月	3	手作りおやつ	22	忘年会	23	手作りおやつ	6	誕生日会
	25	ティーパーティー					9・13	誕生日会
1月	5	ティーパーティー	15	小正月	17	手作りおやつ	5	誕生日会
	25	手作りおやつ	28	出前ランチ			8・14	誕生日会
2月	3	節分	8	手作りおやつ	15	ティーパーティー	2	誕生日会
	21	出前ランチ	23	手作りおやつ			10・25	誕生日会
3月	3	手作りおやつ	8	行事食	12	ティーパーティー	4・9	誕生日会
	17	イチゴ大福	30	イチゴ大福			10	誕生日会

## 介護老人保健施設 石部ケアセンター

### (入所・ショートステイ・デイケア)

(令和 3 年度 総括)

#### 1. 総括

##### (1) 石部ケアセンター

令和 3 年度は、昨年度より継続していた報酬区分「加算型」として運営を開始した。

一方で新型コロナウイルスの感染症が県内においても増加傾向となり、在宅復帰を見送るケースも増加した。秋季には入院者の増、特養への入所増により利用率が低迷し、短期入所サービスの受入れや新規利用者の受入れを強化したが、回転率が伸び止まり利用率も前年度減になった。

また、感染症対策については、新型コロナウイルスの感染防止対策に対する経費が膨らんだが、対策の成果もあり感染を防ぐことができた。

業務面では、退所者は 68 名(令和 2 年度 76 名)となった。入所者は 74 名を受け入れた結果、利用率は年間で 89.57%となり、令和 2 年度(91.34%)より 1.77%減少した。

介護に関する事故等については、年間「事故、ヒヤリはつと件数」を合わせ 755 件となった。事故原因は様々な要素が絡むが、介護事故を防ぐ為には、職員のレベルアップ、事故に対する予見能力をアップさせる必要があり、今後も研修、啓発、指導していく。また、苦情申し出の件数は 0 件(令和 2 年度 0 件)であった。

##### <時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3 年度	335,429	267,402	89,122	24,769	▲45,864
2 年度	329,168	272,930	87,421	24,076	▲55,259
1 年度	317,716	272,566	86,004	26,053	▲66,907

##### (2) デイケア

令和 3 年度も、新型コロナウイルス感染症により利用を控える方がいた為、居宅介護支援事業所への紹介依頼、パンフレットの送付等 PR 活動を行った。

その結果一人当たりの利用回数増加により延べ人数は上期 3,415 名、内予防 620 名(令和 2 年度 3,194 名、内予防 651 名)、下期 3,358 名、内予防 692 名(令和 2 年度 3,194 名、内予防 559 名)であり、年間では 6,773 名、内予防 1,312 名(令和 2 年度 6,388 名、内予防 1,210 名)より 385 名増加した。

令和 4 年 3 月 31 日現在の登録利用者数は、要支援 21 名(令和 2 年度 18 名)、要介護 75 名(令和 2 年度 72 名)、合計 96 名で、登録利用者数は、6 名増加となった。

業務面では、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、パーティションの設置、利用者全員にマスクの着用と手指消毒の徹底、乗車前、到着後、帰宅前の体温確認、リハビリ機器の

消毒、定期的な換気、利用者同士の間隔を広くとるなど、ADL(日常生活動作)や QOL(生活の質)に直結するように、日常生活動作関連の体操や DVD 等を使っての音楽に合わせた体操などを実施した。

また、利用者が自主性を高めるため、脳トレなどのプリントを準備することや、手指のリハビリ器具、足につける重りなどを利用者が取りやすいところに配置し、いつでも実施できるように取り組んだ。

レクリエーションについては、利用者同士の接触やカラオケなど大声を出すものを控え、単独で行える内容に変更した。リハビリやレクリエーションなどすべてにおいて、3 密を避け、互い違いに座り、換気、手指消毒の徹底など、感染症対策を行った上で、心身機能の維持・向上に取り組んだ。

職員のスキル向上については、新型コロナウイルスの感染症により、会議の開催が不十分ではあったが、資料等の配布により、リハビリや医療、介護技術関連の勉強会の実施を行った。また、外部研修については、ZOOM 等を利用し参加することができた。

ヒヤリはつと件数 2 件(令和 2 年度 2 件)、事故件数 10 件(令和 2 年度 4 件)の合計 12 件発生した。苦情の申し出については、今年度 0 件(令和 2 年度 0 件)であった。

##### <時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3 年度	58,950	24,778	9,152	3,074	21,946
2 年度	58,964	25,936	9,263	3,855	19,910
1 年度	67,386	26,363	11,496	3,693	25,834

#### 2. 利用者数(延べ人数)

石部ケアセンター

令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上期	
入所延べ数	2,085	2,152	2,041	2,073	2,169	2,077	12,597	
入所者数	6	2	3	7	6	2	26	
退所者数	8	2	5	6	3	7	31	
ショート	1	0	0	1	25	0	27	
デイケア	551	541	552	604	578	589	3,415	
(内介護予防)	111	101	110	101	95	112	630	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下期	合計
入所延べ数	1,953	1,819	1,876	2,085	2,021	2,268	12,022	24,619
入所者数	2	7	11	14	5	9	48	74
退所者数	5	7	11	4	6	4	37	68
ショート	0	3	7	6	5	5	26	53
デイケア	575	591	569	510	502	611	3,358	6,773
(内介護予防)	117	122	113	106	109	125	692	1,322

3. 石部ケアセンター職種別職員数（令和 4年 3月 31日現在）

職種	(医師) 施設長	事務長	副施設長	薬剤師	栄養士 管理	O T	P T	支援相談員	(含HDC) 看護師	(含HDC) 介護職	介護支援 専門員	事務員	その他
常勤職員	1 (1)	0	1 (1)	0	1	5	3	6	27	1	2	0	
非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	4	21	0	0	3	
嘱託	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	1 (1)	0	1 (1)	1	1	5	3	10	48	1	2	3	

( ) : 内兼務

職員数

\* 総人数 76名(内非常勤 28名)

4.年間行事等実施内容

別紙のとおり

令和3年度 行事等実施報告書（石部ケアセンター）

月	項目		行事			その他	
	日	日	2階	3階	日	日	
4月					5・24 行事食「お花見弁当」	6 電気設備点検	共通 エレベーター点検 移動散髪
					14 おやつ作り「オレシシデー」	15	
					23 おやつ作り「いちごだいふく」	16	
5月					3 おやつ作り「かしわもち」	11 電気設備点検	電気設備点検 移動散髪 水質検査
					6・18 行事食「五目散らし寿司」	21	
					12 出前ランチ	28	
					22 おやつ作り「台湾カステラ」		
6月					3 おやつ作り「あじさい風ゼリー」	7 電気設備点検	エレベーター点検 移動散髪
					4・16 行事食「天津飯」	14	
					12 おやつ作り「豆腐のブランマンジエ」	18	
					22 おやつ作り「たこ焼き」		
					21 出前ランチ		
7月					10・26 行事食「冷やし担々麺」	5 電気設備点検	移動散髪
					14 おやつ作り「金魚鉢ゼリー」	16	
					20 おやつ作り「ボンデケイジョ」		
					23 出前ランチ		
					29 スイカ割り		
8月					8・11 ゴーヤ料理を食べよう	4 電気設備点検	エレベーター点検 移動散髪
					5 行事食「そうめん」	6	
					12・23 かき氷	20	
					14 出前ランチ		
					20 おやつ作り「きなこもち」		
					24 行事食「あんかけうどん」		
					2 出前ランチ	7 電気設備点検	
9月		19	敬老祝賀会	19	敬老祝賀会	9 消防点検	移動散髪
					8 おやつ作り「栗どら焼き」	17	
					17・29 行事食「きのご炊き込みご飯」		
					21 月見団子		
					25 おやつ作り「キャロットケーキ」		
10月					2 おやつ作り「抹茶カップケーキ」	11 エレベーター点検	移動散髪 電気設備点検
					4 行事食「さつま芋ご飯」	15	
					16 おやつ作り「かぼちやマフィン」	16	
					21 おやつ作り「スイートポテト」		
					23 行事食「くりおこわ」		
					25 おやつ作り「スイートポテトケーキ」		
					26 出前ランチ		
					27 焼き芋		
					28 おやつ作り「キャベツ焼き」		
					30 ハロウィン かぼちやようかん		
11月					5 おやつ作り「りんごケーキ」	12 電気設備点検	移動散髪 水質検査 消火訓練
					6 おやつ作り「かぼちやのケーキ」	19	
					9・25 行事食「おでん」	19	
					16 おやつ作り「おはぎ」	29	
12月					1 出前ランチ	6 電気設備点検	エレベーター点検 移動散髪
					13 行事食「散らし寿司御膳」	9	
					16 豚汁作り	17	
					25 クリスマス会「テイラミス」		
					28 ぜんざい作り		
					31 忘年会「塩ちゃんご鍋」		
1月					4 新年会「松花堂弁当」	8 電気設備点検	移動散髪
					7 七草粥	21	
					15 鏡開き		
					19 おやつ作り「肉まん作り」		
					22 行事食「カレーライス」		
2月					24 出前ランチ「しげよし」		
					10 おやつ作り「バナナハウンドケーキ」	4 電気設備点検	エレベーター点検 移動散髪
					14 おやつ作り「しつじョコブラウニー」	14	
					25 出前ランチ	18	
					26 おやつ作り「チョコブラウニー」		
3月					3 ひな祭り「ひなあられ」	4 電気設備点検	移動散髪 電気設備点検
					8 おやつ作り「くちもち」	18	
					25 おやつ作り「コシニヤ」	27	
					26 出前ランチ「かつ屋」	30	

## 八起会ホームヘルプステーション

(令和3年度 総括)

### 1. 総括

昨年度同様に今年もコロナ渦の運営を余儀なくされる中、ヘルプステーションは在宅サービスを支える使命感を持ち、基本サービスに加え、感染対策をより強化した体制で臨んだ。他サービス事業所や居宅介護支援事業所との情報交換を密にし、利用者の要望に応え満足度を高められるよう努力することを事業所の全員が共有し、事業推進を行った。

サービスの質の向上をより明確にさせるため、職員教育を目的にした研修へ参加させ、職員教育の基盤づくりを行った。

障害者総合支援法に基づくサービスは、地域会議が新型コロナウイルスの影響で中止され、地域のニーズや障害者サービスの動向についても調査を継続することができなかった。その結果、同行援護・居宅介護・重度訪問介護サービスは新規利用者の増加は見込めなかった。

#### □ 業務面より

令和3年度は、前年度以上に居宅介護支援事業所と密に連携をとった結果、事業所登録利用者数は58名(前年対比14名増)となった。

障害者総合支援法に基づくサービスにおける利用者数は4名(令和2年度4名)となり増減は無かった。令和3年度中の事故件数は0件(令和2年度0件)、ヒヤリはつと件数は4件(令和2年度1件)であった。また、苦情件数は5件(令和2年度0件)であった。

#### □ 経営面より

介護保険利用者延べ人数は、616名(令和2年度551名)の65名の増となった。派遣回数は4,729回(令和2年度3,996回)より733回の増となり、サービス提供時間は3,474時間(令和2年度3,382時間)より92時間の増となった。

障害者総合支援法派遣回数は、対象者の入院及び介護保険への移行により261回(令和2年度306回)より45回の減であった。

サービス活動収益は、自立支援利用者が介護へ移行されたことから自立支援者が減少した。一方で職員の常勤転換により介護給付の派遣回数が増加したこともあり、サービス活動収益は前年対比3,049千円増加した。ただし職員常勤転換により人件費1,106千円増と、新型コロナウイルス感染対策による物件費増26千円で減価償却増225千円もあったが、サービス活動増減差額▲1,102千円と前年対比1,692千円改善した。

#### <時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3年度	17,781	16,942	1,497	444	▲1,102
2年度	14,732	15,836	1,471	219	▲2,794
1年度	16,352	16,403	1,200	169	▲1,420

### 2. 利用者数(派遣利用者数)

ホームヘルプステーション

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
介護保険(人数)	48	48	48	51	54	52	301
派遣回数	305	349	357	392	407	415	2,225
サービス提供時間	270	269	266	298	299	296	1,698
障害者総合支援(人数)	3	4	3	4	3	4	21
派遣回数	26	22	23	27	22	22	142
サービス提供時間	33	30	30	37	26	28	184

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
介護保険(人数)	54	52	54	54	49	52	315	616
派遣回数	387	413	429	414	377	439	2,459	4,684
サービス提供時間	281	297	311	300	271	315	1,775	3,473
障害者総合支援(人数)	4	3	4	3	3	4	21	42
派遣回数	21	23	22	20	18	26	130	272
サービス提供時間	26	28	29	24	20	19	146	330

### 3. ホームヘルプステーション職種別職員数 (令和4年3月31日現在)

	所長	サービス提供責任者	ヘルパー職員
常勤職員	兼務1	兼務2	3(サ責含む)
パート等非常勤職員			3
合計	兼務1	兼務2	6

## 介護老人福祉施設もみじ(入所・短期入所)

### もみじデイサービスセンター

### もみじケアプランセンター

(令和 3 年度 総括)

#### 1. 総括

例年になく大雪の日が連続した令和 3 年度は、送迎はもとより職員の出勤にも影響をうけることが数多くあった。大きな混乱はなかったものの当施設の収支は降雪に影響されることが多々ある。施設にある除雪機では追い付かず、近隣の建設業者に除雪を依頼しないと駐車もできないほどの積雪量であったため、その依頼についての費用対効果は高かったと言える。

年間を通し、新型コロナウイルスをはじめとする感染症については対策をしっかりと行っていたが、年度末に入所施設で陽性者が確認され対応が迫られた。結果として入所者 3 名が入院、職員 1 名が自宅待機となり、他事業所から 1 名の応援職員を派遣してもらい勤務を維持した。在宅系のサービス事業を中止することなく、サービス提供を継続できたことは良かったことであり、また利用者家族や近隣住民にも新型コロナウイルスの理解が広がっていると感じられた。感染における対応にも徐々に変化がみられており、今後も各関係機関との連携が必要であり、事前準備と早期対応が求められる。

令和 2 年度に導入した自家発電機を導入することにより東近江市と福祉避難所協定を締結し、地域の方の安全と安心を提供できる環境ができた。平時に公にするものではないが、感染症に関連する行事自粛により、地域自治会との関係性が薄れつつある中で、災害対策訓練などをきっかけに今後もつながりを継続していきたい。

#### <時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3 年度	360,917	233,019	87,326	32,136	8,436
2 年度	350,858	223,383	89,655	27,003	10,817
1 年度	351,090	216,173	82,863	23,685	28,369

#### (1) 施設入所事業

令和 3 年度にあたっては、退所者が 12 名であり、平均 13.3 日の空床期間での入所となった。これには、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、入所前の施設を退所できずに当施設入所が遅れたことや当施設での感染者発生中に入所できなかったことなどの理由が挙げられる。クラスターにならないような配慮が必要であるため慎重になったことが入所までに日数を要した結果となった。

今後とも、感染には配慮しながらも待機者の状況把握と整理を順次進め空床期間をできるだけ短期間にしていきたい。

(空床期間:平成 30 年度=8.3 日、令和 1 年度 9.7 日、令和 2 年度 10.2 日)

感染が大規模にならないように人的にフロアを分け実施しているが人件費が上がっており、業務の効率化をすすめていく必要がある。また、法人内で初めて入所施設での新型コロナウイルスの発症があった。感染源の特定はほぼできており、今後の対応として確認できた。しかしながら、時間外労働を含め、対策物品の購入経費等、費用がかかったことは事実であり反省点である。

年間利用率は 98.40% (令和 2 年度 97.69%)

#### <時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3 年度	213,394	137,198	54,551	21,365	280
2 年度	209,838	128,494	55,419	17,415	8,510
1 年度	208,116	119,694	51,568	14,360	22,494

#### (2) 短期入所事業

令和 1 年度からショートステイの原状回復に向けて取り組んでおり、令和 3 年度は 20 床の稼働のもと、目標の 80% をクリアできた。地域のニーズも増えており、多床室による安価な料金も選定いただける要因となっている。また、もみじデイサービス利用者の利用が多く、デイサービスの利用満足度に助けられている面も大きいと考えられる。

サービスの提供内容の質を向上し、安定した利用率を目指し、サービス活動増減差額のマイナスをいかに抑えるかがポイントとなる。

年間利用率は 82.24% (令和 2 年度 69.32%)

#### <時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3 年度	68,490	52,923	19,290	5,505	▲9,227
2 年度	57,598	50,814	20,035	4,570	▲17,821
1 年度	49,725	47,208	17,149	4,419	▲19,051

19290

#### (3) もみじデイサービスセンター

令和 3 年度は、昨年度に引き続き利用率の回復には至らず、またショートステイの大幅な改善に反比例し、目標を大きく下回った。要因としては、利用者がショートステイを利用するために、デイサービス利用を休むという循環がある。根本的には施設運営上、要介護者はデイサービス利用から始め、ショートステイにつなげ、そこから入所に至るということは考えられるため流れとしては間違っていないが、デイサービスの新規獲得ができていないところが改善点である。スポット利用の活用もあまりできていなかったことも反省点であり、サービス内容としても抜本的な改革が必須である。

年間利用率は 67.30% (令和 2 年度 68.10%)

<時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3年度	59,902	27,970	12,693	5,107	14,132
2年度	66,231	29,458	13,959	4,656	18,158
1年度	77,851	31,753	13,303	4,655	28,140

(4)もみじケアプランセンター

もみじケアプランセンターにおいては、平均して新規利用者の受け入れを行え、収益としても安定した結果となった。依然として残ることは紹介率の向上が課題であり、デイサービスの利用率低迷を打開するべく新規利用者をデイサービスに位置付けることまでには至っていない。事業所単独で考えるのではなく、施設内、法人内の事業所連携を強化していく必要がある。

<時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3年度	19,131	14,928	793	159	3,251
2年度	17,190	14,616	840	362	1,372
1年度	15,398	17,519	843	250	▲3,214

2. 年間延べ利用者数(もみじ入所・短期入所・もみじデイサービスセンター・もみじケアプランセンター)

(1)もみじ入所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者 延べ人数	1,480	1,508	1,482	1,492	1,529	1,493	1,461	1,486	1,473	1,525	1,369	1,514	17,812
(内)入 院・外泊 数	20	42	17	0	0	0	0	0	19	25	0	8	131

(2) もみじ短期入所生活介護(予防含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者 延べ人数	469	472	435	510	530	539	539	507	499	525	477	501	6,003

(3) もみじデイサービスセンター

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	要支援	21	22	20	20	21	20	20	22	22	22	20	17	247
	要介護	60	60	60	62	61	60	61	60	60	62	63	61	730
延べ 利用 日数	要支援	120	120	121	117	107	122	120	124	118	81	59	68	1,277
	要介護	547	502	537	523	500	496	506	521	507	457	472	512	6,080

(4) もみじケアプランセンター

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画 作成 数	予 防	39	39	40	39	40	40	40	43	42	38	39	38	477
	介 護	85	84	84	79	81	81	82	82	80	82	80	78	978
合 計		124	123	124	118	121	121	122	125	122	120	119	116	1,455

3. 職種別職員数(令和4年3月31日現在)

職種	施設長 管理者	事務長	事務員他		介護 支援 専門員	生活 相談員	管理 栄養士	看護職員		介護職員		嘱託 医	指導 員	機能 訓練	合 計
			常勤	非常勤				常勤	非常勤	常勤	非常勤				
事業															
入所					(1)	1	(1)	2	(1)	21	23	2	(1)	0	54
短期 入所	(2)	0	2	3	0	(1)	(1)	(1)	(1)	21	23	2	(1)	0	(8)
デイ サービス	(1)	0	0	0	0	1	(1)	(1)	(3)	2	8	0	(1)	(2)	11
ケアプラン センター	(1)	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	(4)	0	2	3	3	2	(2)	2	(4)	23	31	2	(2)	(2)	68

( ) = 兼務

4. 年間行事等実施内容

別紙のとおり

## 令和3年度 行事等実施報告書（もみじ）

項目 月	行事		職員研修・会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月								
			毎水曜					
	5	居宅会議	27	フロア会議			5	エレベーター点検
	6	身体的拘束適正化検討委員会	28	フロア会議			14	害虫駆除
	6	褥瘡予防委員会						
	6	リスクマネジメント委員会						
	6	サービス向上委員会						
	15	看護会議						
	16	リーダー会議						
	16	給食会議						
16	入所検討委員会							
17	衛生委員会							
19	チーム永源寺会議(地域)							
20	入浴会議							
5月	3	マナー研修の会議	21	安全運転管理者理事会			12	1階浴槽内タイル修理
	6	シフト会議	24	チーム永源寺総会(地域)			13	障子の修理
	6	新人職員への技術指導	25	DS会議			14	新型コロナワクチン接種
	11	身体的拘束適正化検討委員会	25	フロア会議			19	浴槽内水質検査
	11	褥瘡予防委員会	25	女性キャリアアップ研修(ZOOM)			27	障子はめ込み
	13	東近江市NT会議	26	フロア会議				
	14	看護会議	26	フロア会議				
	20	リーダー会議	28	新人担当者会議				
	20	給食会議						
	20	入所検討委員会						
6月	9	DSおやつ作り					1	湖北設計打ち合わせ
	10	DSおやつ作り					4	エレベーター点検
	11	DSおやつ作り					15	給茶機設置工事
	14	チーム永源寺会議(地域)					16	給茶機設置
	17	リーダー会議					24	入所者健診
	17	給食会議					24	職員健診
	17	入所検討委員会					24	ガス遮断弁工事
	21	感染対策委員会						
	22	チーム永源寺理事会(地域)						
	22	フロア会議						
7月								
	2	目標設定会議	16	入所検討委員会			1	ワックス清掃
	5	シフト会議	20	DS会議			1	職員健診
	6	居宅合同会議	26	チーム永源寺会議(地域)			2	ワックス清掃
	7	法人相談員会議	27	フロア会議			2	害虫駆除
	9	情報交換会	28	フロア会議			3	ワックス清掃
	12	看護会議	28	フロア会議			3	給茶機修理
	13	LIFEセミナー	30	東近江ネットワーク会議			6	1階お風呂リフト点検
	13	身体的拘束適正化検討委員会	30	新人担当者会議			14	給茶機裏の壁補修
13	褥瘡予防委員会					28	カーテン取り付け	
13	リスクマネジメント委員会							
13	サービス向上委員会							
15	衛生委員会							
16	リーダー会議							
16	給食会議							
8月	3	身体的拘束適正化検討委員会	31	新人担当者会議			6	エレベーター点検
	3	褥瘡予防委員会	31	人事考課研修			16	労働基準監督署来所
	12	衛生委員会	31	市 連携会議(WEB)			27	労働災害防止対策説明会
	13	看護会議					31	安全運転管理者講習
	17	女性キャリアアップ研修(ZOOM)					31	ガスメーター点検工事
	19	リーダー会議						
	19	給食会議						
	19	入所検討委員会						
	23	チーム永源寺会議(地域)						
	25	フロア会議						
25	フロア会議(書面)							
26	フロア会議							
9月	1	シフト会議	17	入浴会議			1	外壁工事打ち合わせ
	3	外国人受け入れ打ち合わせ	21	フロア会議			6	消防設備点検
	3	ナースコール打ち合わせ	22	フロア会議			15	イベント事業説明会(WEB)
	7	身体的拘束適正化検討委員会(書面)	22	フロア会議				
	7	褥瘡予防委員会(書面)	27	チーム永源寺会議(地域)				
	8	スタッフ就職説明会	27	ほのぼの栄養ケア操作説明(ZOOM)				
	9	衛生委員会	28	DS会議				
	13	看護会議	30	新人担当者会議				
	16	リーダー会議	30	外国人向け研修				
	16	給食会議						
16	入所検討委員会							
16	マナーリーダー研修							

項目 月	行事		職員研修・会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	
10月	5	身体拘束適正化検討委員会	26	DS会議	14	福祉避難所調印式	4	エレベーター点検	
	5	褥瘡予防委員会	26	フロア会議			6	業務洗濯機洗剤注入機交換	
	5	リスクマネジメント委員会	27	フロア会議			10	屋根塗装	
	5	サービス向上委員会	27	フロア会議			21	外壁工事打ち合わせ	
	6	シフト会議					25	介護労働安定センター	
	7	パソコン入れ替え					29	インフルエンザ予防接種	
	8	衛生・労務・産業研修							
	13	パソコン入れ替え							
	14	衛生委員会							
	15	看護会議							
	15	看取り介護研修							
	21	リーダー会議							
	21	給食会議							
	21	入所検討委員会							
	25	感染対策会議							
	11月	2	身体拘束適正化検討委員会	17	入所検討委員会			3	洗面所取り換え工事
		2	褥瘡予防委員会	18	女性キャリアアップ研修(WEB)			6	エアコン水漏れ確認
2		感染対策委員会	19	入浴会議			9	インフルエンザ予防接種	
5		シフト会議	24	フロア会議			12	東近江スマイルネット機器取り換え	
9		法人相談員会議	24	フロア会議			16	給茶機点検	
11		衛生委員会	25	医師会との意見交換会(WEB)			17	1F浴槽リフト修理	
11		送迎サービス会議	30	ケアマネ連携会議			22	外壁工事打ち合わせ	
12		看護会議					29	2,3丁目天井クロス	
15		チーム永源寺会議(地域)					30	2,3天井クロス	
16		マネージャー養成研修							
16		福祉法人ネットワーク会議							
17		リーダー会議							
17		給食会議							
12月		1	シフト会議	16	看取り介護研修	17	福祉避難所運営訓練	1	ワックス清掃
		2	褥瘡勉強会(WEB)	23	フロア会議			2	ワックス清掃
		7	身体拘束適正化検討委員会	29	フロア会議			2	東近江スマイルネット工事
		7	褥瘡予防委員会					2	外壁完了検査
	9	衛生委員会					2	コロナワクチン説明会	
	13	チーム永源寺会議(地域)					3	ワックス清掃	
	15	看護会議					6	エレベーター点検	
	16	リーダー会議					8	ハローワーク就職説明会	
	16	給食会議					8	感染対策巡視	
	16	入所検討委員会					14	建物検査	
	12	DSおやつ作り	17	看取り介護研修			7	お風呂点検	
	13	DSおやつ作り					18	夜勤者健康診断	
	14	DSおやつ作り					26	モルテン エアマット説明(ZOOM)	
	1月			17	チーム永源寺会議(地域)	28	福祉法人ネットワーク会議	27	入所者インフルエンザ接種
				17	マネージャー養成研修(ZOOM)			31	害虫駆除
				18	福祉法人ネットワーク会議				
				19	業績向上委員会(SW会議)				
			20	福祉大臣等操作説明会(ZOOM)					
			20	事務担当者会議(ZOOM)					
			21	リーダー会議					
			21	給食会議					
			21	入所検討委員会					
			26	フロア会議					
			21	チーム永源寺会議(地域)			2	カーテン確認	
			22	フロア会議			7	エレベーター点検	
			23	フロア会議			7	水道点検	
							13	停電	
							17	エアコン修理	
2月									
	3月	22	DSおやつ作り	17	リーダー会議	28	消防避難訓練	1	エアコン修理
		23	DSおやつ作り	17	給食会議			2	ナースコール説明
24		DSおやつ作り	17	入所検討委員会			6	電器設備	
			17	東近江ネットワーク会議			6	高圧充電装置取り換え	
			18	入浴会議			9	消防設備点検	
			23	フロア会議			28	感染対策(滋賀県医療福祉推進課)	
			23	フロア会議					
			30	新卒リモート対談					

## 特別養護老人ホーム あぼし(入所・短期入所)

(令和3年度 総括)

### 1. 総括

令和3年6月よりインドネシア人の介護福祉士候補生2名を受入、育成に力を入れ、早々に独り立ち戦力とすることができた。また日系ブラジル人等の介護補助職を採用し、専門職との業務分担を明確にして、人件費率も全国平均以下に抑えることができた。

予算に対しては、入所、ショートステイ事業共に、未達であり今後入所については次期入所者の選定期間の短縮、ショートステイについては、リピート率の改善、各居宅事業所との連携を図り、家族レスパイトの需要の取り込みを積極的に進めたい。

#### <時系列推移表 施設全体>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3年度	342,027	200,103	83,162	22,251	36,511
2年度	341,797	200,162	77,405	21,931	42,299
1年度	322,719	194,937	75,403	26,088	26,291

#### (1) 施設入所事業

新型コロナウイルスの感染症対策や看護体制の充実から、体調不良による入院が減少し、安定した稼働につながり、前半の稼働の低迷が続いたが、挽回できた。

#### <時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3年度	305,984	168,971	72,523	16,769	47,721
2年度	306,655	168,986	67,769	16,437	53,462
1年度	288,095	164,584	65,738	18,947	38,826

#### (2) 短期入所事業

コロナ禍によるデイサービスの使い控え需要から、ショートステイに駆け込みケースを拾うことができ、新型コロナウイルス第6波ピークにおいても、安定した稼働を維持することができた。

#### <時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3年度	36,043	31,131	10,638	5,483	▲11,209
2年度	35,142	31,175	9,636	5,494	▲11,164
1年度	34,624	30,352	9,665	7,141	▲12,534

### 2. 年間延べ入所・利用者数 (上段:あぼし施設入所・下段:短期入所)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
施設入所者	1,678 (35)	1,704 (37)	1,646 (2)	1,685 (15)	1,720 (2)	1,640 (29)	1,700 (7)	1,711 (4)	1,750 (0)	1,770 (13)	1,636 (16)	1,788 (11)	20,428 (171)
短期入所利用者	189	191	196	222	224	192	247	224	275	238	222	242	2,662
合計	1,902	1,932	1,844	1,922	1,946	1,861	1,954	1,939	2,025	2,021	1,874	2,041	23,261

\*施設入所者欄( )は入院者延数

### 3. 職種別職員数(令和4年3月31日現在)

	施設長	事務員	生活相談員	介護支援専門員	管理栄養士	栄養士	介護職員		看護職員		機能訓練指導員	調理員	医師		その他	合計
							常勤	非常勤	常勤	非常勤			常勤	非常勤		
施設入所事業	1	2	1	1	1	/	29	9	4	3	(1)	/	1	11	63	
短期入所事業																

\*介護支援専門員は特養専任

\*上記の内、育児休業4名

### 4. 年間行事等実施内容

別紙のとおり

## 令和3年度 行事等実施報告書（あぼし）

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月	毎月	お誕生日会	毎月	ブロック会議	28	相談員会議			4	ボイラー点検
			1・7・20	新入職員研修					9	自動水栓点検
			6	役職者会議					14	害虫駆除
			6	給食会議					15	エレベーター点検
			8	コロナ感染対策会議					20	ラレジュ（移動散髪）
		13	入所検討会議							
		15	ナース会議							
5月	毎月	お誕生日会	毎月	ブロック会議	25	中堅職員研修			2・23	利用者コロナワクチン接種日
	21	花や野菜を植えよう会	10	役職者会議	31	外国人研修			6・7	ワックス清掃
			10	給食会議					10～13	消防スプリンクラー工事
			11・20	新入職員・パート→正職員研修					13	ラレジュ（移動散髪）
			13	ナース会議					18	消火栓舗装工事
		14	マネージャー大会							
		25	女性キャリアアップ研修							
6月	毎月	お誕生日会	毎月	ブロック会議	18	フレッシュマン研修			14	エレベーター点検
	10	おまんじゅうを作ろう会	1	役職者会議	18	ナース会議			14	ラレジュ（移動散髪）
			1	給食会議					22	利用者健康診断
			2・17・29	新入職員・パート→正職員研修					28	職員健康診断
			7	入所検討会						
		16	リーダー研修							
7月	毎月	お誕生日会	毎月	ブロック会議	13	新入職員・パート→正職員研修			15	ラレジュ（移動散髪）
	1～7	七夕合同企画会	6	役職者会議	15	マネージャー研修			8・12	職員健康診断
			6	給食会議	29	中堅職員研修				
			6	入所検討会						
			9	ナース会議						
8月	毎月	お誕生日会	毎月	ブロック会議	18.20	リーダー研修			2	下水管工事
	4	みんなでスイカ割り会	3	入所検討会	25～31	人事考課研修			16	エレベーター点検
	4.23	あぼし大花火大会	9	ナース会議	25	新人フォローアップ研修			24	厨房 保健所点検
			10	新入職員・パート→正職員研修	26	事務担当者会議			29	受水槽点検
			17	女性キャリアアップ研修					29	消防設備点検
9月	毎月	お誕生日会	毎月	ブロック会議	22	フレッシュマン研修			13	電解水修理
	20	敬老会	7	役職者会議	30	外国人向けマネージャー研修			16	ラレジュ（移動散髪）
			7	給食会議					28	全館エアコンフィルター清掃
			7	入所検討会					30	ガラス清掃
			16	マネージャー大会						
10月	毎月	お誕生日会	毎月	ブロック会議	12	ナース会議			11	ラレジュ（移動散髪）
	3	運動会	5	役職者会議	13	リーダー研修			11	ボイラー点検
	23.28	ハロウィン仮装パーティー	5	給食会議	25	中堅職員研修			11	エレベーター点検
			5	入所検討会					21・26	職員インフルエンザ予防接種
			8	新入職員フォローアップ研修					31	計画停電
11月	毎月	お誕生日会	毎月	ブロック会議	16	マネージャー研修			1・2	ワックス清掃
	21	ガトーカボチャを作ろう会	2	役職者会議	18	キャリアアップ研修	29	消防訓練（3施設合同）	1	職員インフルエンザ予防接種
			2	給食会議	24	コロナ対策会議			4	電解水修理
			2	入所検討会	30	外国人向けマネージャー研修			11	ラレジュ（移動散髪）
			15	ナース会議						
12月	毎月	お誕生日会	毎月	ブロック会議	9	ナース会議			10	ラレジュ（移動散髪）
	24	クリスマス合同パーティー	6	役職者会議	27	看取り研修			17	エレベーター点検
	24	餅つき大会	6	給食会議						
			7	入所検討会						
			8	リーダー研修						
1月	毎月	お誕生日会	毎月	ブロック会議	17	マネージャー研修			13	ラレジュ（移動散髪）
			4	役職者会議	17	ナース会議			14	食器消毒保管庫点検
			4	給食会議	19	相談員会議			19・27	夜勤従事者健康診断
			4	入所検討会	20	事務担当者会議				
			7	リーダー研修						
2月	毎月	お誕生日会	毎月	ブロック会議					6	利用者コロナワクチン接種日
			1	給食会議					7	水槽点検
			1	入所検討会					10	ラレジュ（移動散髪）
			17	中堅職員研修					14	エレベーター点検
			25	事務一元化会議					21	エアコン修理
3月	毎月	お誕生日会	毎月	ブロック会議	4	新入職員フォローアップ研修	30	消防訓練（3施設合同）	9	厨房調理器修理
			2	女性キャリアアップ研修	8	人事考課研修			10	室外機点検
			3	中堅職員研修	9	リーダー研修			11	ラレジュ（移動散髪）
			4	新副主任・主任研修	18・22	ケアパレット説明会			27	消防設備点検
			4	新入職員研修	23	コロナ対策会議			28	あぼし巡視点検
								30	ガラス清掃	

通年

毎週火 利用者歯科往診

毎週土 利用者小川Dr.往診

## デイサービスセンター にここ

(令和 3 年度 総括)

### 1. 総括

- ・利用者が住み慣れた地域で顔馴染みの人と一緒に安心した生活が少しでも長く続けられるように、認知症の進行予防に重点を置き、利用者それぞれの状態に合わせた対応を心がけ、一人ひとりが個性を發揮して、やりがいを持ち、いきいきと楽しく過ごして頂けるような雰囲気作り、ケアの提供に努めた。
- ・新型コロナウイルスの影響により感染予防対策を講じた編み物ボランティアを除き依頼を中止した。ZOOM によるボランティアの活動も検討したが、見えにくい、そこに居ない、聞こえにくい等テレビを見ている感じとなるため依頼せず。その代わりとして、利用者の認知症の進行予防につながる活動として、洗い物、洗濯物たたみなどの日常生活の中で利用者にも手伝っていただき、その方の能力や個性に応じて活躍できる場面を意図的に設けるようにした。自分の好きな事、自信を持ってできる事なのでいきいきとした表情で活動に取り組みまれ、利用者から、「何か手伝おうか」などの声も聞かれる。何もしたくないと言う方にはそのまま何もせず過ごしていただく時もあり、苦手な事を無理にするよりはゆっくりしていただくと思い様子を見るようにしている。

自然と色々な会話に花が咲くよう昔の懐かしい話で回想し、その時が笑顔になれる取り組みを心掛け、帰る前には、皆さんで懐かしい歌を唄い、楽しい気分で帰所していただいている。

- ・毎日、午後に 30 分間「百歳体操」を継続して行い、身体機能の維持、低下予防に努めた。利用者の中で習慣となった方もあり、意欲的に取り組まれている。また、ルームサイクルを使用し、昼食後の 5 分から 15 分の運動を取り入れ下肢筋力の維持に努めている。午前・午後の集団体操では、全身を使い固くなった筋肉を少しほぐしています。
- ・利用者一人ひとりの認知症の症状に着目して観察を行い、ミーティングで情報共有し、ケアの改善を図り、利用者・利用者家族やケアマネジャーとも連携を取るように努めた。また、認知症実践者研修に参加した職員の学んできた内容を事業所内で共有し認知症に対する知識の向上にも努めた。
- ・利用者家族や居宅介護支援事業所のケアマネジャーにその月の行事や日々の様子を写真で見えていただいたり、法人の職員ブログを案内し、事業所のアピールに取り組んだ。
- ・運営推進会議は、年に 2 回の予定であったが、1 回目を 7 月に開催した後、2 回目は新型コロナウイルスの影響により報告書の送付で対応をした。
- ・「にここカフェ・介護なんでも相談所」(湖南市認知症地域支援推進事業)を毎月第 2 第 4 土曜日に開催。新型コロナウイルスでの自粛もあったが、定員を 10 名までに抑え感染対策を徹底して開催し、年間約 30 名余りの方に来所していただいた。湖南市役所、図書館・老人福祉センターに案内を置き、さらなる参加者の募集も行っている。来所される方は全員が前年度のリピーターで、相談内容としては、「ケアマネをどこに頼んだらいいのかわからないのか、誰がいいのか」といった内容であった。
- ・今年度の「介護者の集い」は地域の施設を借りて開催し、5 月と 1 月の 2 回で参加者は合計 11

名参加いただき、自宅で介護されている方が日々の思いを話せる場を作れました。いろんな方との交流で地域の支援を活用できる場を提供できた考える。

今後も、いろいろな年代の方が足を運んでいただける場になるように努めていきたい。

- ・来年度は地域の方との関わりの場(避難訓練や、認知症をテーマにした学習会の開催等)を積極的に設けていきたい。

〈時系列推移表〉

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3 年度	20,872	13,380	3,463	2,717	1,311
2 年度	24,807	13,599	3,665	2,724	4,819
1 年度	29,284	11,959	3,580	2,541	11,204

### 【利用率及び利用者数】

令和 3 年度末の登録利用者数は 12 名。

～年間延べ利用者数、1 日平均人数、利用率～

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延べ利用人数(名)	150	146	149	165	120	157	140	138	138	134	114	154	1,705
1 日当たり(名)	7.10	6.93	7.09	7.85	5.71	7.47	6.66	6.57	6.57	6.38	5.42	7.33	6.6
利用率(%)	56.82	57.94	56.44	62.50	45.45	59.47	55.95	52.27	50.00	55.83	47.50	55.80	54.66

※令和 3 年度の 1 日平均利用者数は 6.6 名、利用率 54.66%(平成 2 年度 1 日平均利用者数は 7.6 名、利用率 63.23%)であり、1 日平均利用者数は 1 名減、利用率は、約 8.57%の減となった。年間の利用者延べ人数は介護予防 0 名で介護給付のみの 1,705 名(令和 2 年度延べ人数 1,975 名)であり 270 名減となった。平均要介護度は 2.0(平成 2 年度 1.7)

※年間の延べ人数、1 日平均利用者数、利用率ともに令和 2 年度と比較して減った。令和 4 年度の目標は、70%で設定し達成できるように職員で力を合わせて日々のケアの質の向上を図り、新規利用者の獲得、現在利用されている方の満足度の向上に努めていきたい。

※利用率の変動理由について、他サービス利用での新型コロナウイルス感染者 1 名、利用自粛 2 名の利用者減があった。また、新規の方もいたものの 2 日利用された後、骨折され入院となった。結果、既存の利用者の利用日が増えたのみとなった。

※当サービス利用時に新型コロナウイルス感染症が判明した利用者が 1 名おられたが、事業所建物への入館前に玄関で抗原検査の陽性が判明したため、感染拡大を防げたことは不幸中の幸いであった。しかし、その影響で利用の自粛が発生した。

2. 職種別職員人数(令和4年3月31日現在)

管理者	生活相談員	ケアワーカー	機能訓練指導員
1	1	3(3)	1(1)

( ):非常勤職員

## 令和3年度 行事等実施報告書(ここにこ)

項目 月	行 容		事		職員研修・職員会議等		災 害 訓 練		健康管理・衛生管理	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	1・2	壁紙制作	22	チョコレートケーキ	9	運営会議				
	5～9	壁紙制作	23	チョコレートケーキ						
			29	カレンダー						
			30	カレンダー						
5月	4～8	壁紙制作	24	行事食					10	ワックス
	11	折り紙	25	編み物						
	18	編み物	28	外で昼食(おでん)						
			28	カレンダー						
6月	1～4	壁紙制作	31	カレンダー						
	4	誕生日会	24	手作りおやつ	8	あんしん相談員会議	14	消防・避難訓練	28	健康診断
	7	折り紙	29	カレンダー	18	若年性認知症勉強会	10	消火点検		
	15	編み物	30	カレンダー						
7月	5	壁紙制作	22	行事食	10	運営推進会議			8	健康診断
	6	折り紙	20	編み物	20	感染研修			12	健康診断
	7～9	壁紙制作	23	誕生日会	28	感染研修				
	12	壁紙制作	29	カレンダー						
8月	2・14	誕生日会	30	カレンダー						
	2	折り紙	26	手作りおやつ	9	感染研修				
	3～6	壁紙制作	27	手作りおやつ	10	あんしん相談員会議				
	9	壁紙制作	30	カレンダー	26	福祉大臣研修				
9月	17	編み物	31	カレンダー		感染研修DVD				
	1～3	壁紙制作	16	誕生日会						
	6	壁紙制作	17	敬老会/行事食						
	7	折り紙	20	行事食						
10月	8	壁紙制作	29	カレンダー						
	15	誕生日会	29	カレンダー/壁紙						
	18	折り紙								
	1	壁紙制作	16	行事食	4	運営会議			5	有川製薬
11月	2	折り紙	26	手作りおやつ	12	あんしん相談員会議			21	インフルエンザ予防接種
	3・4	壁紙制作	29	カレンダー	15・16	人権研修DVD			26	インフルエンザ予防接種
	8	手作りおやつ	30	カレンダー						
12月	6～10	壁紙制作	22	行事食(鍋)	3	運営会議				
	21	誕生日会	30	カレンダー	14	あんしん相談員会議	8	西村電機		
			31	カレンダー	11・14	感染研修				
					15	感染研修				
1月	4～6	壁紙制作	20	手作りおやつ						
	5	新年会(行事食)	24	手作りおやつ						
	5	新年会(行事食)	28	カレンダー						
	11	手作りおやつ	31	カレンダー						
2月	7～10	壁紙制作	15	手作りおやつ	7～15	人権研修(ビデオ)				
	2	手作りおやつ/誕生日会	25	カレンダー						
	3	節分(豆まき)	28	カレンダー						
	18	手作りおやつ/誕生日会								
3月	7～11	壁紙制作	25	手作りおやつ/誕生日会	10	あんしん相談員会議				
	22	行事食/誕生日会	30	カレンダー						
			31	カレンダー						

## 地域密着型特別養護老人ホームみやのもり(入所・短期入所)

### みやのもりデイサービスセンター

### みやのもりリハビリステーション

(令和 3 年度 総括)

#### 1. 総括

開設以来、チームケアを目標に「利用者が生活の場として家庭的な雰囲気の中で安らかな毎日が送れるように、個別の尊重・利用者本位のサービス提供を行う」ことを常に念頭に入れて施設運営を行っている。

今年度も、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で施設運営・活動の自粛を余儀なくされる状況となった。しかし、その中でもできる限り地域密着型特別養護老人ホームとして「地域・近隣の方々と共に歩む施設」を目指し、宮の森自治会や隣接するHOPPA石部(旧石部幼稚園)との交流を通して地域との関係の構築に努めた。また、運営推進会議の開催についても、自粛をすることとなり今年度は1回のみ開催となった。ただ、自粛をする中でも運営委員の方との意見交換を行い、特に新型コロナウイルス感染症に対する地域の状況や施設の状況、対応等の情報を共有することができ、互いに理解を深めることができた。

施設運営については、「サービスの向上」を目指し、各事業で課題を掲げ取り組んできた。また、感染予防への対応等に力を注ぎ、各研修や訓練等を実施することで利用者の健康管理の徹底と職員の育成に努めた。

<時系列推移表:施設全体>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3年度	241,659	153,496	60,106	22,423	5,634
2年度	248,331	146,059	57,326	22,685	22,261
1年度	241,772	147,759	54,968	24,106	14,938

#### (1) 施設入所事業

開設から10年を迎えて入所者の重度化に加えて、昨年度より算定している日常生活継続支援加算により、要介護4以上と重度認知症利用者が増加し、身体介助や認知症への対応、医療面などを含めて介助量はさらに増加している。

サービス面では、今年度も看取りケアの充実を目指し、入所者家族や医療との連携の強化を図った。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により面会制限を実施していたが、看取り期の方のみ、感染対策を徹底し面会を実施することで、入所者家族の満足度向上に繋げることができた。また、デスカンファレンスの内容の充実を図り、看取りケアの質も向上できた。

業績面は、今年度の退所者は11名(令和2年度6名)。利用率は96.84%(令和2年度

96.75%)であった。

近年の懸案事項である入所申込み数は、64名(令和2年度61名)であった。しかし、競合する他施設との利用者の奪い合いは益々厳しい状況になっている。常に課題としている退所から次期入所までの期間を、平均7日とすることができた。また、重度化が進む中、入院される利用者も増加してきている。今後も利用者の体調管理に努め、医療との連携を強化し、入院期間の短縮に努めていく。また、医療依存度の高い中重度者の受入れ体制の構築を進めるとともに、入所事前面接を随時行い、空床の期間の短縮に努めていく。

<時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3年度	160,801	81,331	34,509	16,449	28,511
2年度	158,534	77,513	32,984	16,666	31,370
1年度	157,131	78,105	32,095	17,297	29,635

#### (2) 短期入所生活介護事業

在宅で生活されている要支援・要介護高齢者の自立(自律)へ向けての「施設と在宅の一元化」を目指したサービスの提供並びに家族の介護負担の軽減(レスパイトケア)を図れるサービスの提供に努めた。

今年度の利用率は63.39%と目標を大幅に下回る結果となった。要因の一つとして、新型コロナウイルス感染症による利用制限や利用自粛があったこと、新規利用者のリピート率が低く、安定した運営に繋がらなかった。

今後の対策として、サービスの質の向上を図り、利用者・家族の満足度を向上させリピーターを増やしていけるよう努めていく。

また、感染予防を徹底することで安心して利用していただける施設であることをアピールしていき、利用率の向上を目指していく。

<時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3年度	43,205	38,667	13,687	3,852	▲13,001
2年度	46,006	36,759	12,900	3,881	▲7,534
1年度	45,470	37,057	12,531	4,628	▲8,747

#### (3) みやのもりデイサービス事業

利用者が落ち着いた雰囲気の中で自分らしい在宅生活を継続できるよう支援に努め、利用者家族の潜在的なニーズを掘り起こし短期入所生活介護事業との連携を深める等、併設の通所介護事業所としての特色を活かした運営を行った。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響から十分な行事やレクリエーション等に行えない状況であった。しかし、その中でも、Webを使用したレクリエーションなど、新たな取り組みも行えた。さらに、職員一人ひとりが利用者に満足していただけるように接遇に対し目標を持ち、丁寧な対応を心掛け、サービスの向上に努めた。また、感染症に対する対応を徹底することで、利用者や利用者家族への信頼・安心感をもっていただけるように努めた。

しかし、職員、利用者共にデイサービス内での新型コロナウイルス感染が幾度か確認される結果となった。また、1月には5日間の営業を停止させる状況となり、利用率低下、減収の大きな要因となった。ただ、早期対応ができたことにより拡大を最小限にとどめることができた。

結果として、今年度の1日平均利用者数は12名(令和2年度13.72名)で1.72名の減となり、利用率は59.98%(令和2年度68.7%)と8.7%の減となった。

今後については、今年度の経験を活かし、さらなる感染予防に努めると共に、サービスの向上に努め利用率の回復を目指したい。

<時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3年度	33,425	30,261	10,492	1,772	▲9,099
2年度	39,710	27,964	10,164	1,807	▲226
1年度	34,888	27,764	9,094	1,863	▲3,833

(4) みやのもりリハビリステーション事業

利用者が自立(自律)した日常生活を営むことができるよう、通所型サービスのうち緩和した基準によるサービスとして「みやのもりリハビリステーション」を開設し、5年目を向かえた。

特色であるリハビリ機器を十分に活用したリハビリメニューを実施し、また、専門職によるリハビリ指導やアドバイスをを行うことで、総合事業の役割を果たすよう努めた。

年間の平均利用登録者数は23.25名。平均利用率65.84%(令和2年度62.74%)であった。新型コロナウイルスの影響もあり、自粛される利用者が多数あったが、今年度途中から理学療法士が担当したことで、リハビリとしての専門性が強化でき利用者数の増加に繋がった。今後、新規利用者を獲得していくためには、4支所に分割された地域包括支援センターとの連携が重要となってくることから、さらなる連携に努めていく。

<時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3年度	4,228	3,237	1,417	351	▲776
2年度	4,080	3,822	1,277	329	▲1,349
1年度	4,283	4,834	1,248	318	▲2,117

2. 年間延べ利用者数

(1) みやのもり施設入所事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者数	858	840	852	860	883	818	862	870	899	892	796	819	10,249
入院外泊数	13	48	13	38	0	28	28	0	0	0	11	58	237
合計	871	888	865	898	883	846	890	870	899	892	807	877	10,486

(2) みやのもり短期入所生活介護事業(ショートステイ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	257	302	280	257	300	302	256	271	270	255	239	236	3,225

(3)-1 みやのもりデイサービス事業

(介護のみ 予防なし)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
デイサービス	351	262	310	338	362	316	317	323	347	223	251	334	3,734

(3)-2 みやのもりデイサービス登録者数(令和4年3月31日現在)

申請中	要支援	要支援	要介護	要介護	要介護	要介護	要介護	合計
1	1	2	1	2	3	4	5	
1	0	0	18	11	8	3	2	43 男性 7 女性 36

(4) みやのもりリハビリステーション事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者	25	24	24	26	27	25	25	26	26	25	24	25	302
延べ利用者数	101	69	88	95	72	74	81	85	80	70	60	94	969

3. 職種別職員数(令和4年3月31日現在)

	施設長・所長	事務員	生活相談員		介護支援専門員	管理栄養士	栄養士	介護職員		看護職員		機能訓練指導員	調理員	医師		その他(非常勤)	合計
			常勤	非常勤				常勤	非常勤	常勤	非常勤			常勤	非常勤		
施設入所事業	{1}	1	1	1	{1}	{1}		20	9	2 (1)	(1)	(1)		1	5	40 (3)	
短期入所生活介護																	{3}
デイサービス	(1)		1 (1)					1 (1)	3	(1)	(1) {1}	(1)			2	7 (6) {1}	
リハビリステーション	(1)											{1}				(1) {1}	
合計	(2) {1}	1	2 (1)	1	{1}	{1}		21 (1)	12	2 (2)	(2) {1}	(2) {1}		1	7	47 (10) {5}	

( ) 施設事業所内兼務 ・ { } 本体施設兼務

4. 年間行事等実施内容  
別紙のとおり

## 令和3年度 行事等実施報告書（みやのもり）

月	行			事			職員研修・職員会議等			災害訓練			健康管理・衛生管理		
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	
4月	8・14・15	手作りおやつ	毎月	お誕生日会	毎月	リダーブロック会議 子育てママのキャリアアップ研修 初任者研修			前期より	感染症予防対策 (面会制限実施) エレベーター点検 厨房害虫駆除 深夜業務従事者検診					
	6・13・27	手作りおやつ	毎月	お誕生日会	毎月	リダーブロック会議 初任者研修 子育てママのキャリアアップ研修 マネージャー育成研修 フレッシュマンリーダー研修 女性キャリアアップ研修 外国人向けマネージャー研修			1 15	入所者コロナワクチン接種① 入所者コロナワクチン接種②					
	2・8・11	手作りおやつ	毎月	お誕生日会	毎月	リダーブロック会議 初任者研修 フレッシュマンリーダー研修 中堅職員研修			14	入所者健康診断 (血液検査・胸部X線撮影) 職員健康診断 エレベーター点検 エアコンフィルター清掃 職員健康診断					
6月	5・14	手作りおやつ	毎月	お誕生日会	毎月	リダーブロック会議 子育てママのキャリアアップ研修 初任者研修 マネージャー養成研修 中堅職員研修 外国人向けマネージャー研修			29 15	エレベーター点検					
	2・11・12	手作りおやつ	毎月	お誕生日会	毎月	リダーブロック会議			5 8・12	エアコンフィルター清掃 職員健康診断					
	1・6・7	手作りおやつ	毎月	お誕生日会	毎月	リダーブロック会議 フレッシュマンリーダー研修 人事考課研修 新入職員フォローアップ研修 外国人向けマネージャー研修			16 28 16・17	エレベーター点検 消防設備点検 ガス清掃 床清掃					
9月	4・7・12	手作りおやつ	毎月	お誕生日会	毎月	リダーブロック会議 リダー研修 新任役席者研修 中堅職員研修			17 21・26 13	電気設備総合点検 職員インフルエンザ予防接種 エレベーター点検					
	10・12	手作りおやつ	毎月	お誕生日会	毎月	リダーブロック会議 子育てママのキャリアアップ研修 マネージャー養成研修 初任者研修 外国人向けマネージャー研修			1 14 20	職員インフルエンザ予防接種 建物点検 入所者インフルエンザ予防接種					
	6・8・9	手作りおやつ	毎月	お誕生日会	毎月	リダーブロック会議 湖南市実地指導 リダー研修			9 14	エレベーター点検 建物点検					
12月	12・24・25	手作りおやつ	毎月	お誕生日会	毎月	リダーブロック会議 子育てママのキャリアアップ研修 マネージャー養成研修 外国人向けマネージャー研修			19・27	夜勤従事者健康診断					
	7・9・13	手作りおやつ	毎月	お誕生日会	毎月	リダーブロック会議 女性キャリアアップ研修 中堅職員研修 新入職員フォローアップ研修 新任役席者研修			5 5 7 14 16	消防設備点検 入所者コロナワクチン接種③ 水道点検 エレベーター点検 排水管清掃 床清掃 ガス清掃					
			毎月	お誕生日会	毎月	リダーブロック会議 県集団指導zoom			4 29						



## デイサービスセンターこんぜの郷

### こんぜデイサービスセンター

(令和 3 年度 総括)

#### 1. 総括

##### (1) デイサービスセンターこんぜの郷

- ・今年度も、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、感染に脅かされたが、感染防止対策を整え、利用者、職員とともに感染者を最小限に抑えることができた。
- ・こんぜの郷は、金勝地区の認知症要介護者の「よりどころ」となり、要介護者が住み慣れた地域で安定した生活が継続できるよう、また、利用者の意志や人権を尊重し、利用者一人ひとりに合わせた環境で自己実現・自己表現ができるデイサービスとなるよう努めている。機能訓練指導員の配置を活かし、身体的な機能訓練だけでなく、認知症の周辺症状に合わせたリハビリが実施できるよう取り組んだ。昨年から取り組んでいた利用者の様子の写真とメッセージを加えた手紙を利用者家族に月に 1 回、配布することも継続し、利用者家族の安心、満足にも繋がった。
- ・今年度の一日平均利用者数は、2.5 名で、年間の利用者延べ人数は 654 名となり、平均利用者は減少となった。要因としては利用登録者の特養入所やショートステイ利用などで利用率向上とはならない結果に終わった。現在の登録利用者数は 8 名となっている。
- ・平均要介護度は 1.6 である。
- ・今年度も、運営推進会議を 2 回→3 回に増やし開催予定していたものの新型コロナウイルス感染症の影響で 1 回しか開催できなかった。しかし、会議のメンバーとの情報交流の場を増やす事により、地域のニーズや問題点などを把握するよう努めた。また、認知症ケアの必要性や認知症デイサービスの特質を理解していただけるよう啓発にも努めた。
- ・今年度も栗東市と協同し、認知症カフェを実施した。しかし、6 回予定していた内、5 日が新型コロナウイルスの影響により中止となり、1 回のみで開催となった。内容は参加者の方と共に認知症に関する勉強会やビデオ講習会を行った。カフェ参加者数は 16 名/回で来所されるメンバーは、昨年同様のメンバーがほとんどであった。認知症カフェ参加者から八起会のサービスを利用していることによって生き生きと生活されておられるという意見を聞くことができた。

##### <時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3 年度	8,711	22,375	4,122	2,658	▲20,444
2 年度	12,783	24,099	4,349	2,447	▲18,112
1 年度	11,216	24,034	4,195	2,533	▲19,547

##### (2) こんぜデイサービスセンター

- ・デイサービスセンターこんぜの郷同様、新型コロナウイルス感染防止対策を整え、感染者を最小限に抑え、一年間事業を続ける事ができた。今年度も、栗東市の在宅介護の拠点となるよう、地域に根ざした運営に努めた。
- ・昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの関係上、外出行事は一切中止となった。その反面、室内レクリエーションや室内行事に力を入れ、生活意欲の向上や利用者一人ひとり、存在価値が見出せるようなサービス提供に努めた。
- ・こんぜデイサービスの特色であるリハビリ設備(足こぎバイク・平行棒・ショルダーマシーン・リハビリスロープ・バンドグリップ等)を活かし、身体機能の維持・向上が図れるよう努めた。また、入浴に関しても、利用者一人ひとりに合わせた入浴ができるよう取り組めた。
- ・現在、登録利用者数は 41 名(令和 2 年度 51 名)である。  
地域で八起会の知名度を高め、信頼され、必要とされる事業所となり、利用者、利用者家族、地域の方々、各関係事業所等の要望等に柔軟かつ迅速に対応できるよう努めたが、今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域との関わりは実現できていない。
- ・今年度の一日平均利用者数は 15 名、年間の利用者延べ人数は 4,971 名であった。前年対比で一日平均では▲3 名、年間対比▲640 名と大幅な減少に転じた。要因として、秋頃より毎日利用されている方の長期入院や死亡された方により利用率も大幅に減少した。
- ・平均要介護度は 2.1

##### <時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3 年度	44,298	22,410	10,316	4,975	6,597
2 年度	51,618	21,968	10,928	4,920	13,802
1 年度	53,165	21,816	11,901	5,177	14,270

##### 2. 年間延べ利用者数(DS こんぜの郷・こんぜ DS 上段:介護 下段:予防)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
DS こんぜの郷	66	58	57	61	65	66	60	57	47	37	39	41	654
こんぜ DS	9	9	8	8	8	10	12	13	12	11	11	14	125

3. 職種別職員数（令和4年3月31日現在）

形態 \ 職種	所長	事務員	相談員	ワーカー	看護師	指導員 機能訓練	調理員	運転手
DS こんぜの郷	(1)		1	5(2)		(1)	1	1
こんぜ DS	(1)		1	4	1(1)	(1)		1
計	(2)		2	9(2)	1(1)	(2)	1	2

( ): 兼務

4. デイサービス登録者数（令和4年3月31日現在）

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
	DS こんぜの郷	0	0	1	3	3	1	
	50代	60代	70代	80代	90代	100代		
	0	0	0	6	2	0		
こんぜ DS	事業対 象者	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	
	2	17	9	8	4	1	41 男性 12 女性 29	
	50代	60代	70代	80代	90代	100代		
	0	0	3	25	13	0		

5. 年間行事等実施内容

別紙のとおり



## 八起会栗東居宅介護支援事業所

(令和 3 年度 総括)

### 1. 総括

令和 3 年度は、新規の受け入れ人数が 39 名(令和 2 年度 20 名)で 19 名増加。契約解除者(施設入所等)が 30 名で登録者は約 170 名。担当件数保有数は減少しており、年間延べ利用者人数は 1,446 名で昨年比 335 名の減少となった。

経営面では、サービス活動収益 25,934 千円、人件費 17,410 千円、事業・事務費等 3,289 千円、減価償却費 568 千円でサービス活動増減差額は 4,668 千円となり、当初目標が達成できなかった。

#### <時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3 年度	25,934	17,410	3,289	568	4,668
2 年度	28,077	19,724	2,836	526	4,990
1 年度	28,465	20,620	3,038	384	4,422

#### <活動報告>

- 3 年 11 月から 4 人体制から 3 人体制となったが、新規の件数は増えたものの、全体としての件数は減少した、また八起会法人のサービスにはつながらないケースが多く、特にこんぜデイサービスは 3 割減少している。
- 令和 3 年度は、特に湖南市と栗東市から再三の依頼があり受けざるをえない医療リスクの高い透析や看取りの利用者が多く、八起会法人のサービスにはつながらないケースも多かったが信頼関係を築くことができたため、将来的にはマイナスにはならないと考えている。
- 居宅連携会議開催、栗東市内の居宅介護支援事業所との合同会議を開催、県や市、ブロックの研修や医療従事者や薬剤師会、看護師との協賛の研修会、栗東市で開催される自主勉強会や管理者会議、研修会にも参加した。事業所内の勉強会では、ティーチングとコーチングを使い分けて指導を行った。
- 24 時間連絡体制や苦情に対して迅速な対応をすることで特定事業所加算を算定することができた。困難なケース(独居、高齢者世帯、経済的困窮、虐待、家族が障害等)が多いが、他居宅介護支援事業所が断るケースも積極的に受け入れている。
- 法人内の通所介護と短期入所、介護老人保健施設との意見交換会では、介護老人保健施設 5 カ所および、通所介護 15 ヶ所をリサーチして情報提供を行った。また、石部ケアセンター相談員と共に病院(済生会滋賀県病院、済生会守山市民病院)の医療関係室に訪問を行った。

### 2. 年間延べ利用者数(上段:要介護 下段:要支援)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
125	121	125	128	127	124	126	126	115	110	110	109	1,446
25	23	25	27	26	24	27	26	26	26	26	26	307

要介護利用者: 1,446 名 月平均 120.5 名 (令和 2 年度:1,781 名 月平均 303 名)

要支援利用者: 307 名 月平均 25.5 名 (令和 2 年度: 308 名 月平均 25.6 名)

### 3. 職種別職員数 (令和 4 年 3 月 31 日現在)

	介護支援専門員
栗東居宅	3
合計	3

**グループホームみなくち**  
**デイサービスセンターあさひがおか**  
(令和3年度 総括)

1. 総括

(1) グループホームみなくち

いまだ新型コロナウイルス感染症が終息することができない状況であるが、感染対策を継続し、入所者に感染者を発生させることなく、通常業務については滞りなく運営できた。この1年間で4名の退所者がおられ、うち2名がグループホーム内で看取り期を過ごされた。

コロナ禍で感染対策のため、会議室を居室として使用したことにより、最期の時期を安心してたくさんの家族に看取りいただくことができ、入所者家族にも大変感謝され満足を得ていただくことができた。

- ・年間の平均利用率は95.7%となり、前年度の実績(98.1%)を下回る結果となった。その要因としては、空床期間が最長で2ヵ月と長く次期入所者が確保できていなかった。空床期間を短縮するため、次期入所者を選定しておくことに取り組み、待機者一人ひとりに連絡を入れたものの、入所の意向は先延ばしにされる方が多く、現時点で待機者は2名となっている。また、年末に選定していた2名の方については、令和4年4月にオープンした他のグループホームに入所が決定している状況であった。今後は入所申し込み者(待機者)を増やすためのアピールに力を入れていくように努める。
- ・入所者家族にはリモート面会のみで直接面会を避け、職員から電話や写真付きの手紙にて入所者の様子をお伝えしていたが、すべての入所者家族に満足となるサービスにはならず、疎遠になっている入所者もあることから、次年度はコロナ禍であっても入所者と家族をつなぐ工夫を凝らした行事等を行いたい。
- ・地域活動、ボランティア活動においても、コロナの影響ですべて行えず今後の課題である。看取りケアに関する取り組みは、入所者家族に大変満足していただいた実績があり、職員の看取りに対する意識が高くなっていることもあり、今後はより一層入所者も入所者家族も満足していくサービス向上に努めたい。

<時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3年度	93,628	64,333	19,137	9,440	718
2年度	91,995	62,482	18,851	9,112	1,550
1年度	92,282	70,830	16,858	10,068	▲5,474

(2) デイサービスセンターあさひがおか

認知症であっても可能な限り住み慣れた地域や自宅ですべて生活することができるよう、利用者の社会的孤立感の解消および心身機能の維持並びに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図れるよう努めた。

重度の認知症状の方や要介護度の高い方、他の事業所では受け入れることが困難な方の受入を積極的に行い、居宅介護支援事業所に日々の取り組みや空き状況を紹介しているパンフレットを定期的に発行し、ケアマネジャーとの関係性の構築に重きを置いた。

- ・新型コロナウイルス感染症対策は継続して行い、体調不良者の把握に努め利用者や職員からの持ち込みを防ぐことができた。
- ・利用者数を増やすため、遠方である甲賀市信楽町からの依頼も積極的に受け入れ、早朝の送迎であっても職員が少しでも利用者数を増加させる意識を持ち、全体で取り組むことができた。
- ・利用者家族には、毎回利用者の写真と日記をノートにし、利用者の様子を利用者家族が把握しやすいよう工夫することによって利用者家族にも喜んでいただき、また担当ケアマネジャーにもそのサービス内容を他の利用者へ宣伝してもらうことができた。
- ・頭脳、指先、身体を3点を活用する1日の流れを構築し、利用者家族に対して認知症の進行予防に努める活動を進めることができた。
- ・令和3年度の年間利用率は42.7%であり、(令和2年度47.1%)と比べ4.4%下回る結果となった。前年度と比較すると登録人数が平均2.6名少なかったが、延べ人数が313名増加しており、一人の利用者が利用日数を増やしたことにより利用率を保つことができた。しかし、年間目標の55%には達しておらず、今後は登録者数を増やすための工夫を職員全体で考えていきたい。また、他法人の居宅介護支援事業所からの問い合わせや相談を積極的に行うと共に、健康管理にも重点を置き継続利用ができるように支援をしていきたい。

<時系列推移表>

単位:千円

	サービス活動収益	人件費	物件費等	減価償却費	サービス活動増減差額
3年度	20,885	10,178	4,020	1,837	4,850
2年度	17,314	9,206	3,544	1,846	2,718
1年度	17,212	7,523	3,236	2,300	4,153

2. 年間延べ利用者数、月別利用率

グループホームみなくち

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用率(%)	97.2	100	99.6	96	99.1	98.7	89.4	91.8	95.3	89.2	98.2	93.5
延べ入所 人数(名)	525	558	538	536	553	533	499	496	532	498	495	522
入院・外泊 人数(名)	17	0	3	24	0	0	0	23	30	62	12	39

デイサービスセンターあさひがおか

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録人数 (名)	15	15	17	15	15	15	14	14	12	12	12	12
延べ人数 (名)	129	127	147	141	140	138	143	136	118	104	103	115
利用率(%)	35.8	34.1	40.8	37.9	37.6	38.3	38.4	37.7	31.7	27.9	30.6	30.9

\*登録人数は各月末時点

3. 職種別職員数（令和4年3月31日現在）

	管理者	事務員	計画作成 担当者	生活相談員	機能訓練 指導員	介護職員	介護助手	介護補助
グループホーム みなくち	1(1)	1(1)	2(2)	0	1(1)	17(2)	1	1
DS あさひがおか			0	1	1(1)	2	0	1
計	1(1)	1(1)	2(2)	1	2(2)	19(2)	1	2

\*管理者、事務員はグループホームみなくち、デイサービスセンターあさひがおか兼務（ ）は兼務

\*計画作成担当者は介護職員との兼務

4. 年間行事等実施内容

別紙のとおり

